

1. 教育環境に関する アンケート調査報告書

令和6年5月

上尾市教育委員会

目次

1. 概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法及び結果	1
①調査対象者及び回収率	1
②実施方法及び調査期間	1
2. 調査のまとめ	2
(1) 設問区分一覧	2
(2) アンケート調査結果	3
1) 学校規模	3
1) -①「小規模校のメリット・デメリット」(教員、保護者)	3
1) -①-1「小規模校のメリット・デメリット」(教員歴別)	4
1) -②「現在の規模で困っていること等はあるか」(保護者)	7
1) -③「1学年あたりの適切と考えるクラス数」(未就学児保護者)	7
1) -③-1「クラス数選択の理由」(未就学児保護者)	8
1) -④「教員1人あたりの負担感」(教員歴別)	8
2) 学校再編	9
2) -①「学校規模適正化のメリット(効果)、期待すること」 (教員、保護者)	9
2) -②「学校再編に望ましい手法」(保護者、未就学児保護者)	10
2) -③「学校再編検討で配慮する点」(未就学児保護者)	10
3) 学校再編の検討組織	11
3) -①「構成メンバー」(未就学児保護者)	11
3) -②「市民公募メンバー」(教員、保護者、未就学児保護者)	11
4) 教育環境	12
4) -①「学校で身に付けてほしいこと」(未就学児保護者)	12
4) -②「学校教育に求めるもの」(未就学児保護者)	12
4) -③「どのような学校を望みますか」(未就学児保護者)	12
(3) アンケート調査結果(まとめ)	13
1) 学校規模に関すること	13
2) 学校再編に関すること	14
3) 学校再編の検討組織に関すること	15
4) 教育環境に関すること	15
おわりに	15
3. 対象者別 アンケート集計結果	16
(1) 教員	16
教員用アンケート設問	16
問1 現在の学級数・学校規模について	17
1) 小規模校のメリット・デメリット	17

2) 「問1-1」の回答理由 (自由記述) ※後述 (自由記述意見参照)	17
3) 小規模校の教員負担	17
4) 「問1-3」の回答理由 (自由記述) ※後述 (自由記述意見参照)	17
問2 学校再編について	18
1) 学校再編のメリット (効果)	18
問3 学校再編の検討組織について	19
1) 検討組織の市民公募を行う場合の人選	19
問4 回答者について	19
1) 教員歴 (臨任も含む)	19
問5 全体を通して	19
1) 「子供たちの学びに望ましい学校について」 (自由記述) ※後述 (自由記述意見参照)	19
自由記述意見	20
(2) 尾山台小学校 保護者	29
保護者用アンケート設問	29
設問1 現在の学級数・学校規模について	30
設問2 「設問1」の回答理由 ※後述 (自由記述意見参照)	30
設問3 困っていることや不安	30
設問4 「設問3」の回答理由 ※後述 (自由記述意見参照)	30
設問5 学校再編について	31
設問6 学校の再編に期待すること	32
設問7 学校再編の検討組織について	33
自由記述意見	34
(3) 平方北小学校 保護者	39
保護者用アンケート設問	39
設問1 現在の学級数・学校規模について	40
設問2 「設問1」の回答理由 ※後述 (自由記述意見参照)	40
設問3 困っていることや不安	40
設問4 「設問3」の回答理由 ※後述 (自由記述意見参照)	40
設問5 学校再編について	41
設問6 学校の再編に期待すること	42
設問7 学校再編の検討組織について	43
自由記述意見	44
(4) 大石南中学校 保護者	48
保護者用アンケート設問	48
設問1 現在の学級数・学校規模について	49
設問2 「設問1」の回答理由 (自由記述) ※後述 (自由記述意見参照)	49
設問3 困っていることや不安	49
設問4 「設問3」の回答理由 (自由記述) ※後述 (自由記述意見参照)	49
設問5 学校再編について	50
設問6 学校の再編に期待すること	51

設問7 学校再編の検討組織について.....	52
自由記述意見.....	53
(5) 尾山台小学校通学区域 未就学児保護者.....	58
未就学児保護者用アンケート設問.....	58
1. 小中学校の教育環境について.....	59
問1-1 学校で身に付けてほしいこと.....	59
問1-2 学校教育に求めるもの.....	59
問1-3 どのような学校を望むか.....	60
2. 適正な学校規模について.....	61
問2-1 適切と考えるクラス数.....	61
問2-2 適切なクラス数と考える理由.....	61
3. これからの学校のあり方について.....	62
問3-1 学校を再編する手段.....	62
問3-2 通学したい学校.....	63
問3-3 学校再編についての意見 ※後述（自由記述意見参照）.....	63
4. 学校再編の検討組織について.....	63
問4-1 検討組織のメンバー.....	63
問4-2 検討組織の市民公募を行う場合の人選.....	64
自由記述意見.....	66
(6) 平方北小学校通学区域 未就学児保護者.....	69
未就学児保護者用アンケート設問.....	69
1. 小中学校の教育環境について.....	70
問1-1 学校で身に付けてほしいこと.....	70
問1-2 学校教育に求めるもの.....	70
問1-3 どのような学校を望むか.....	71
2. 適正な学校規模について.....	72
問2-1 適切と考えるクラス数.....	72
問2-2 適切なクラス数と考える理由.....	72
3. これからの学校のあり方について.....	73
問3-1 学校を再編する手段.....	73
問3-2 通学したい学校.....	73
問3-3 学校再編についての意見 ※後述（自由記述意見参照）.....	73
4. 学校再編の検討組織について.....	74
問4-1 検討組織のメンバー.....	74
問4-2 検討組織の市民公募を行う場合の人選.....	74
問4-3 学校再編を検討する場合に配慮すること.....	75
自由記述意見.....	76

1. 概要

(1) 調査の目的

上尾市学校施設更新計画基本計画（令和5年3月改定）において定めた、「子供たちの学びに望ましい学校規模の維持（学校規模の適正化方針）」に基づき、下記の学校再編検討対象校における学校の再編検討に向けた参考資料とするため、同校の教員及び保護者、通学区域（尾山台小学校通学区及び平方北小学校通学区）の未就学児保護者を対象としたアンケート調査。

学校再編検討対象校

①尾山台小学校 ②平方北小学校 ③大石南中学校

(2) 調査方法及び結果

①調査対象者及び回収率

対象者	アンケート種別	対象者数	回答者数	回答率
教員	教育環境に関するアンケート	49	47	95.9%
保護者	尾山台小学校の教育環境に関するアンケート（保護者の皆さま）	144	99	68.8%
	平方北小学校の教育環境に関するアンケート（保護者の皆さま）	90	46	51.1%
	大石南中学校の教育環境に関するアンケート（保護者の皆さま）	160	109	68.1%
未就学児保護者	尾山台小学校の教育環境に関するアンケート（未就学児保護者の皆さま）	83	38	45.8%
	平方北小学校の教育環境に関するアンケート（未就学児保護者の皆さま）	70	28	40.0%

②実施方法及び調査期間

対象者	配布・回収方法	調査期間
教員	WEB	R5.8.2～8.25
保護者	WEB（※1）	R5.8.2～8.25
未就学児保護者	郵送又はWEB（※2）	R5.8.2～9.13

※1 保護者は「学校メール配信システム（さくら連絡網）」のアンケート機能を活用

※2 アンケート用紙を郵送し、アンケート用紙又はWEB用アンケートのどちらかで回答

2. 調査のまとめ

(1) 設問区分一覧

下記の「設問区分一覧」に基づき、各対象者のアンケート回答をまとめ、全体的な傾向の把握を目的としている。なお、教員については、教員歴別の取りまとめを行い、教員歴による回答傾向の確認を行った。

■設問区分一覧

項目	設問番号	設問内容	対象者					
			教員	保護者			未就学児保護者	
				尾山台小	平方北小	大石南中	尾山台小 通学区	平方北小 通学区
1) 学校規模	①	小規模校はメリット・デメリットのどちらが大きいと感じるか(単数回答)	○	○	○	○		
	①-1	小規模校はメリット・デメリットのどちらが大きいと感じるか(単数回答)※教員歴別	○					
	②	現在の規模で困っていること等はあるか(単数回答)		○	○	○		
	③	1学年あたりの適切と考えるクラス数(単一選択)					○	○
	③-1	上記選択理由(複数回答)					○	○
	④	教員1人あたりの負担感(単数回答)※教員歴別	○					
2) 学校再編	①	学校規模適正化のメリット(効果)、期待すること(複数回答)	○	○	○	○		
	②	学校再編に望ましい手法(複数回答)		○	○	○	○	○
	③	学校再編検討で配慮する点(3つまで回答可)					○	○
3) 学校再編の検討組織	①	構成メンバー(複数回答)					○	○
	②	市民公募メンバー(単数回答)	○	○	○	○	○	○
4) 教育環境	①	学校で身に付けてほしいこと(3つまで回答可)					○	○
	②	学校教育に求めるもの(3つまで回答可)					○	○
	③	どのような学校を望むか(3つまで回答可)					○	○

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数(全体)を基数として、小数点以下を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、回答比率の合計が100%にならない場合がある。

(2) アンケート調査結果

1) 学校規模

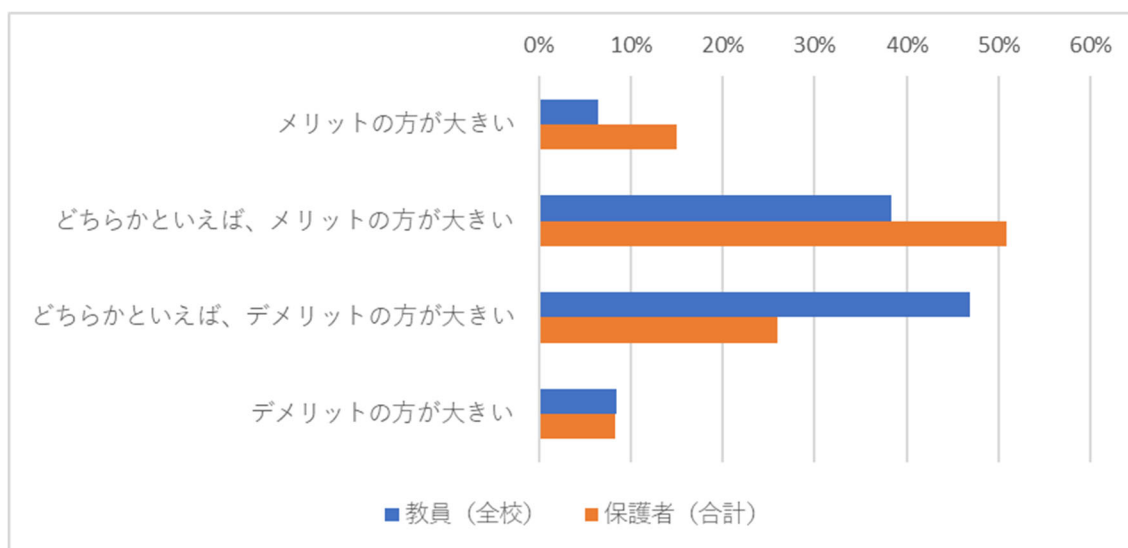
1) -①「小規模校のメリット・デメリット」(教員、保護者)

小規模校のメリット・デメリットについて、保護者はメリット側が66%（「メリットの方が大きい」、「どちらかといえば、メリットの方が大きい」の合計値）、デメリット側が34%（「デメリットの方が大きい」、「どちらかといえば、デメリットの方が大きい」の合計値）となっている。

教員においては、メリット側が44%^[21]（「メリットの方が大きい」、「どちらかといえば、メリットの方が大きい」の合計値）、デメリット側が56%^[22]（「デメリットの方が大きい」、「どちらかといえば、デメリットの方が大きい」の合計値）となっている。

保護者及び教員で、保護者はメリットの方が大きいと感じ、教員はデメリットの方が大きいと感じており、小規模校に対する捉え方に差異がある結果となっている。

- 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(単数回答)



※自由記述：次々頁参照

1) -①- 1 「小規模校のメリット・デメリット」(教員歴別)

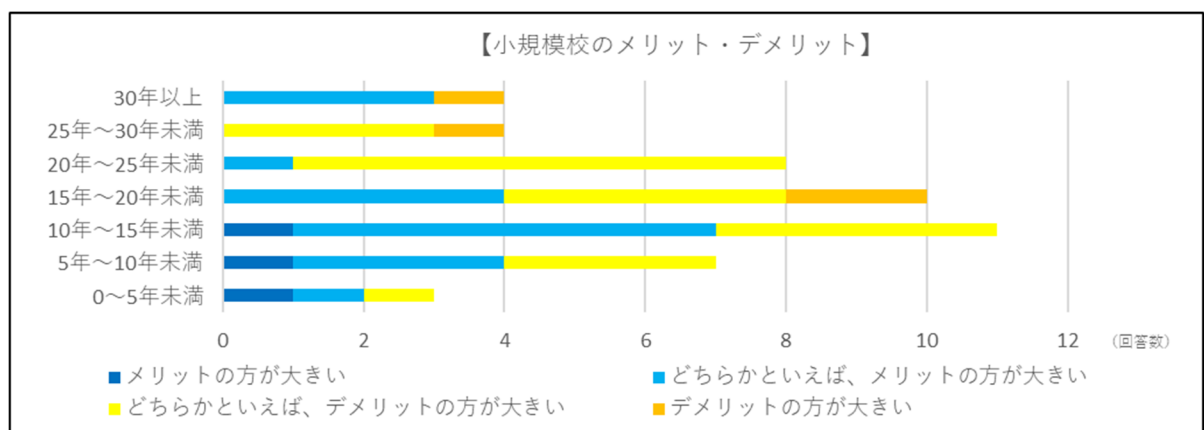
小規模校のメリット・デメリットについて、メリット側が44%[23]（「メリットの方が大きい」、「どちらかといえば、メリットの方が大きい」の合計値）、デメリット側は56%[24]（「デメリットの方が大きい」、「どちらかといえば、デメリットの方が大きい」の合計値）となっている。

なお、職員歴によると、教員歴が15年未満では、メリット側が62%（「メリットの方が大きい」、「どちらかといえば、メリットの方が大きい」の合計値）となっている。その一方で、教員歴が15年以上になると、デメリット側が69%[25]（「デメリットの方が大きい」、「どちらかといえば、デメリットの方が大きい」の合計値）となっている。

教員歴により、小規模校に対する捉え方に相違がある結果となっている。

小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)

教員歴	メリットの方が大きい	構成比	どちらかといえば、メリットの方が大きい	構成比	どちらかといえば、デメリットの方が大きい	構成比	デメリットの方が大きい	構成比	合計
0～5年未満	1	33%	1	33%	1	33%	0	0%	3
5年～10年未満	1	14%	3	43%	3	43%	0	0%	7
10年～15年未満	1	9%	6	55%	4	36%	0	0%	11
計(0～15年未満)	3	14%	10	48%	8	38%	0	0%	21
15年～20年未満	0	0%	4	40%	4	40%	2	20%	10
20年～25年未満	0	0%	1	13%	7	88%	0	0%	8
25年～30年未満	0	0%	0	0%	3	75%	1	25%	4
30年以上	0	0%	3	75%	0	0%	1	25%	4
計(15年～30年以上)	0	0%	8	31%	14	54%	4	15%	26
合計	3	6%	18	38%	22	47%	4	9%	47



※自由記述：次頁参照

※ 自由記述 抜粋

■ 「(どちらかといえば) メリットの方が大きい」と回答した理由

1、メリットに関すること (教員：17件、保護者：42件)

教員

- ・ 子供一人一人をしっかりと見て指導することができるから。児童はきめ細やかな指導をしてもらえるから、一人あたりの使用する物や空間、人、時間等が必然的に多くなるから。

保護者

- ・ すべての先生がどの学年の子どもの事も把握してくれているので、相談事やちょっと学校へ行った際でも安心してどの先生にもお話する事が出来ます。先生方が一人一人に寄り添って指導や相談に乗ってくれるので心強いです。(尾山台小学校保護者)
- ・ 担任の先生が一人一人をしっかりと見てくれる。担任の先生以外の先生も名前を覚えてくれている。他学年との交流が多い。親同士の交流も深まる。(平方北小学校保護者)
- ・ 小学校からそのような学校生活を送っていたら、メリットが大きく感じる。一人一人の距離の近さを特にメリットに感じ、学習面等でも人数の少なさからメリットを感じる事が多い。(大石南中学校保護者)

2、デメリットに関すること (教員：2件、保護者：1)

教員

- ・ 切磋琢磨することに慣れていないので、外に出ると緊張しやすくなってしまう。
- ・ 集団による活動において、できる課題が限られてしまう。

保護者

- ・ クラブ数が増えると嬉しい。(尾山台小学校保護者)

3、メリット・デメリットの両面に関すること (教員：1件、保護者：19件)

教員

- ・ 家庭環境や学力差など、色々な違いがある児童一人一人と十分に向き合っていけることが利点だと思います。寄り添うことで救われる児童も多くいると思います。一方、切磋琢磨という点では十分に育ちきれていないのも現状です。

保護者

- ・ 子供のトラブルや問題に周りが気付きやすいのが良い。ただ、あまりに小規模すぎるとデメリットの方が大きくなるように思う。(尾山台小学校保護者)
- ・ 学級数が少ないことでクラス替えができないというデメリットは人間関係に悩んでいる生徒にとって厳しい環境ではあると思いますが、先生が目が行き届くことで、生徒の生活面や学習面での状況を把握しやすく、何か問題が起きた際に、いち早く大人がサポートできる点は生徒にとっては大きなメリットではないかと思っています。
(平方北小学校保護者)
- ・ 一人一人の学習状況に応じてきめ細かな指導ができる、1人の発表の場が多いとメリットは多いが、人数が少ないと選択できる部活動の種類が制限されてしまうのは、デメリットである。(大石南中学校保護者)

■「(どちらかといえば) デメリットの方が大きい」と回答した理由

1、デメリットに関すること (教員 22 件、保護者 : 33 件)

教員

- ・ クラス替えがないことで、人間関係が固定化してしまう。いじめ等の生徒指導上の問題が発生すると、その問題を抱えたまま小学校 6 年間で過ごすことになってしまう。
- ・ 実際、小規模校に勤めているので、クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができないことが大きなデメリットであると強く感じます。学校行事、勉強などで仲間と競争する機会が少ないのは残念です。

保護者

- ・ メリットは全く感じられません。クラス替えもないため、合わない子供とも 6 年間同じクラスです。楽しいはずの学校生活が最悪の 6 年間になる上、不登校の可能性もあります。また、クラスでの比較もすることができないため競争心の教育【体育祭でのリレーや合唱コンクール等】ができないと考えます。これからの社会に出ていくにあたり多少なりとも競争心がなければ社会で通用する人間形成はできないと考えます。(尾山台小学校保護者)
- ・ 旗振りの回数、PTA 等、保護者の負担が大きい。クラス替えが出来ず、多種多様な考え方、思考ができにくい。何か友達関係でトラブルがあった時の解決策としてクラス替えがあると思うが、それができないとなると、なかなかトラブルが解決できず、違う問題に発展してしまいそう。不登校等。運動会や学習発表会等、クラス対抗する機会がなくクラスの団結力が出来にくい。(平方北小学校保護者)
- ・ 部活動の制限がありすぎる。クラス替えもほぼ無い状況で友達が少ない。(大石南中学校)

2、メリット・デメリットの両面に関すること (教員 : 3 件、保護者 : 7 件)

教員

- ・ 児童は少なくても良いが、教員数も少ないために、一人当たりの仕事量が多くなる。

保護者

- ・ 小規模校のメリットにあるいいことも大いにうなずける。が、今の尾山台小学校のように 6 年間 1 クラスという環境では小規模過ぎる。小学生のうちから大人数の中で社会性(周囲に対する心遣いも含めて)を身に付ける機会が少ないことは、将来社会の中で自分の力で生活していくうえでデメリットの方が大きいと思うため。
(尾山台小学校保護者)
- ・ メリットとして同学年に限らず、1~6 年生全体でお友達を作れたり、先生方が名前や兄弟関係まで把握してくださるのが有り難い。反面、大抵の事の範囲が狭くなり行事等活動に影響が出てくる。設備等も市の中心部学校とは差が出てきてはいないのか?とも思う。学力や、体力も差があるのでは?と感じる。上記メリット欄に地域の協力が得られやすい…と記載されているが高齢者が多い中、特に夏や冬場の協力は懸念を抱く。(平方北小学校保護者)
- ・ 目が行き届くのは良い事だが、友達関係が上手くいかない時など、他クラスに逃げるが出来ない。張り合うとか切磋琢磨ができないから。(大石南中学校保護者)

1) -②「現在の規模で困っていること等はあるか」(保護者)

現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはあるかについて、「ある」35%、「ない」65%となっている。

現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)【単一選択(必ず一つを選択)】			
全体		ある	ない
選択数	254	88	166
構成比	100%	35%	65%

※ 自由記述 抜粋

■「ある」と回答した理由(54件)

- ・ 友達関係の問題が改善されない。PTA活動など、保護者の関わりも負担の方が大きく協力できなくなる。(尾山台小学校保護者)
- ・ 運動会で競争する意識がもてない。クラス替えがない。役員や旗当番がとても負担が大きい。クラブ活動がいろいろできない。(平方北小学校)
- ・ 苦手な人と同じクラスになる確率が上がったり、入りたい部活がなかったり、諦めることが多いのも、小規模校だと思います。(大石南中学校保護者)

■「ない」と回答した理由(11件)

- ・ 地域の方に顔を覚えてもらえて、声をかけてもらっている。(尾山台小学校保護者)
- ・ 少なくとも子供達は楽しく元気に遊びと学びが出来ている。思いやりと優しさは人数少ないからこそ身近で学び行動力に繋がっている。(平方北小学校)
- ・ 今はないが、トラブルがあると少ないクラスなので、人間関係が難しい。
(大石南中学校保護者)

1) -③「1学年あたりの適切と考えるクラス数」(未就学児保護者)

1学年あたりの適切と考えるクラス数は、「3クラス」が59%、「2クラス」が29%となっている。

小学校における1学年あたりのクラス数について、あなたが適切と考えるクラス数を次の中から1つ選択してください。						
全体		1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス以上
選択数	66	2	19	39	5	1
構成比	100%	3%	29%	59%	8%	2%

1) -③- 1 「クラス数選択の理由」(未就学児保護者)

クラス数選択の理由としては、「クラス替えがあり人間関係が固定化しない」が17%となっており、次いで、「教員の目が行き届きやすい」15%、「広い交友関係の構築を期待できる」11%、「深い交友関係の構築を期待できる」10%となっている。

前問「1学年あたりの適切と考えるクラス数」で回答した理由に近いものはどれですか。
次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。

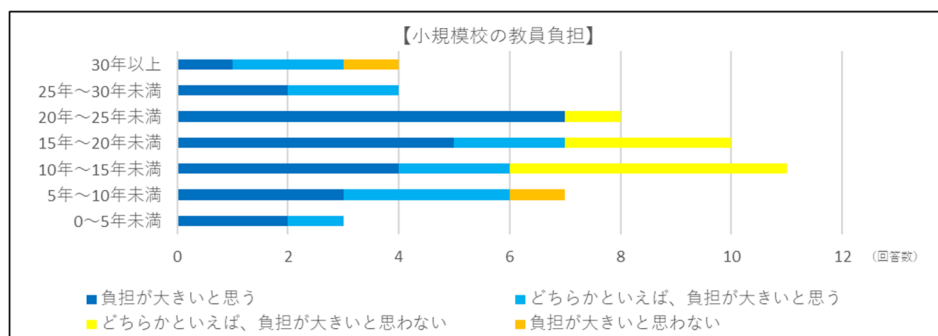
理由	1 全学年の児童と交流させやすい	2 深い交友関係の構築を期待できる	3 個々の活躍の場が増える	4 教員の目が行き届きやすい	5 体育館など余裕をもって使うことができる	6 学校・地域・保護者が一体となった活動がしやすい	7 広い交友関係の構築を期待できる	8 クラス替えがあり人間関係が固定化しない	9 多数の先生と関わりがしやすい	10 クラブ活動や委員会等の選択肢が多い	11 運動会等の醍醐味を体験させられる	12 多様な意見に触れさせることができる	13 その他	
全体	237	16	24	12	35	9	5	26	40	20	12	20	17	1
構成比	100%	7%	10%	5%	15%	4%	2%	11%	17%	8%	5%	8%	7%	0%

1) -④ 「教員1人あたりの負担感」(教員歴別)

小規模校における負担感について、教員歴による大きな差は見受けられなかったが、教員の77%は負担を感じている。「負担が大きいと思う」、「どちらかといえば、負担が大きいと思う」の合計値)

小規模校は、適正規模校(1校あたり12学級から18学級)と比べて、教員1人あたりの負担が大きいと思うことはありますか(1つ選択)

教員歴	負担が大きいと思う	構成比	どちらかといえば、負担が大きいと思う	構成比	どちらかといえば、負担が大きいと思わない	構成比	負担が大きいと思わない	構成比	全体
0～5年未満	2	67%	1	33%	0	0%	0	0%	3
5年～10年未満	3	43%	3	43%	0	0%	1	14%	7
10年～15年未満	4	36%	2	18%	5	45%	0	0%	11
計(0～15年未満)	9	43%	6	29%	5	24%	1	5%	21
15年～20年未満	5	50%	2	20%	3	30%	0	0%	10
20年～25年未満	7	88%	0	0%	1	13%	0	0%	8
25年～30年未満	2	50%	2	50%	0	0%	0	0%	4
30年以上	1	25%	2	50%	0	0%	1	25%	4
計(15年～30年以上)	15	58%	6	23%	4	15%	1	4%	26
合計	24	51%	12	26%	9	19%	2	4%	47



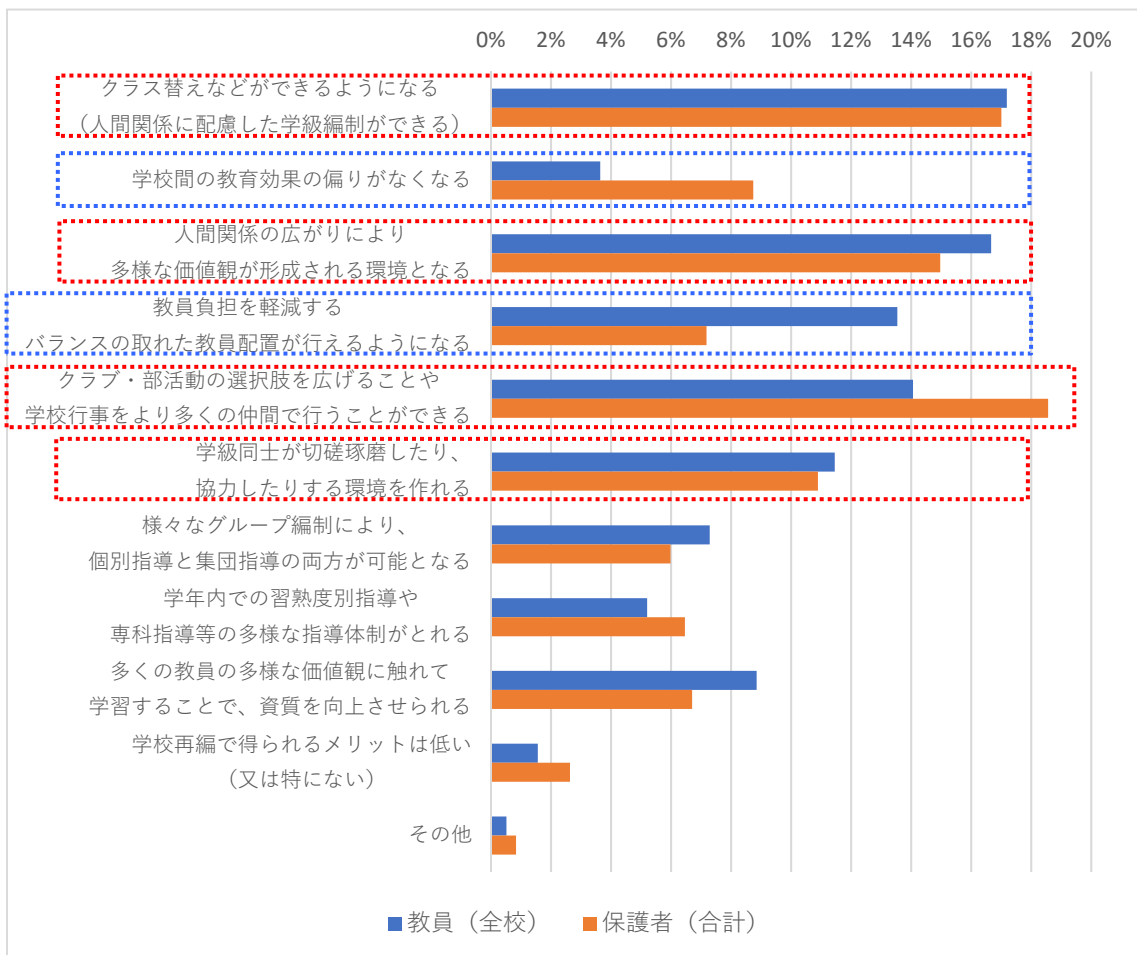
2) 学校再編

2) -①「学校規模適正化のメリット(効果)、期待すること」(教員、保護者)

学校再編による学校規模適正化のメリット(効果)については、「クラス替えなどができるようになる(人間関係に配慮した学級編制ができる)」が教員・保護者共に概ね17%、「人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる」が教員17%・保護者15%、「クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる」が教員14%・保護者19%、「学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる」が教員・保護者共に概ね11%となっている。

教員と保護者の構成比で差異が大きかったものは、「教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行えるようになる」は教員14%・保護者7%、「学校間の教育効果の偏りがなくなる」は教員4%・保護者9%となっている。

■ 学校再編による学校規模適正化のメリット(効果)について、お考えに近いものを教えてください。(複数回答)

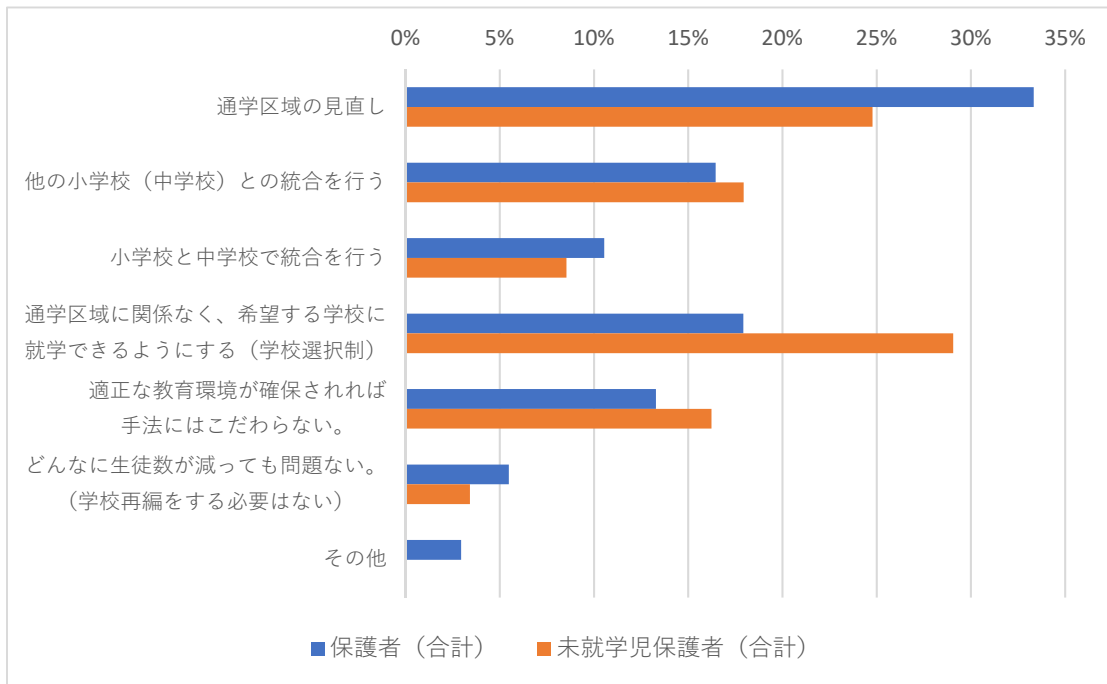


2) -②「学校再編に望ましい手法」(保護者、未就学児保護者)

学校を再編する手法として望ましいと考えるものについては、「通学区域の見直し」が保護者 33%・未就学児保護者 25%、「通学区に関係なく、希望する学校に就学できるようにする(学校選択制)」が保護者 18%・未就学児保護者 29%となっている。

また、「他の小学校(中学校)との統合を行う」は保護者 17%・未就学児保護者 18%、「適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない」は保護者 13%・未就学児保護者 16%となっている。なお、「どんなに生徒数が減っても問題ない(学校再編をする必要はない)」は保護者 6%・未就学児保護者 3%となっている。

■ 学校を再編する手法として望ましいと考えるものはどれですか。(複数回答)



2) -③「学校再編検討で配慮する点」(未就学児保護者)

学校再編検討で配慮する点については、「子供たちの通学(時間・距離・方法)と安全確保」が 32%、次いで「子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減」が 23%となっている。

学校再編を検討する場合に、どのような点に配慮すべきと考えますか。次の中から 3つまで選択してください。										
	1 子供たちの通学(時間・距離・方法)と安全確保	2 子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減	3 魅力的な学校教育の実施や教育環境の整備	4 再編する学校の子供たち同士の事前交流	5 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策の提示	6 避難所機能の存続・充実	7 学校を拠点とし、地域住民が必要なサービス機能の整備(複合化)	8 保護者・地域住民・学校関係者等との十分な協議と丁寧な説明	9 その他	
全体	57	41	20	12	10	14	5	20	0	
選択数	179	57	41	20	12	10	14	5	20	0
構成比	100%	32%	23%	11%	7%	6%	8%	3%	11%	0%

3) 学校再編の検討組織

3) -①「構成メンバー」(未就学児保護者)

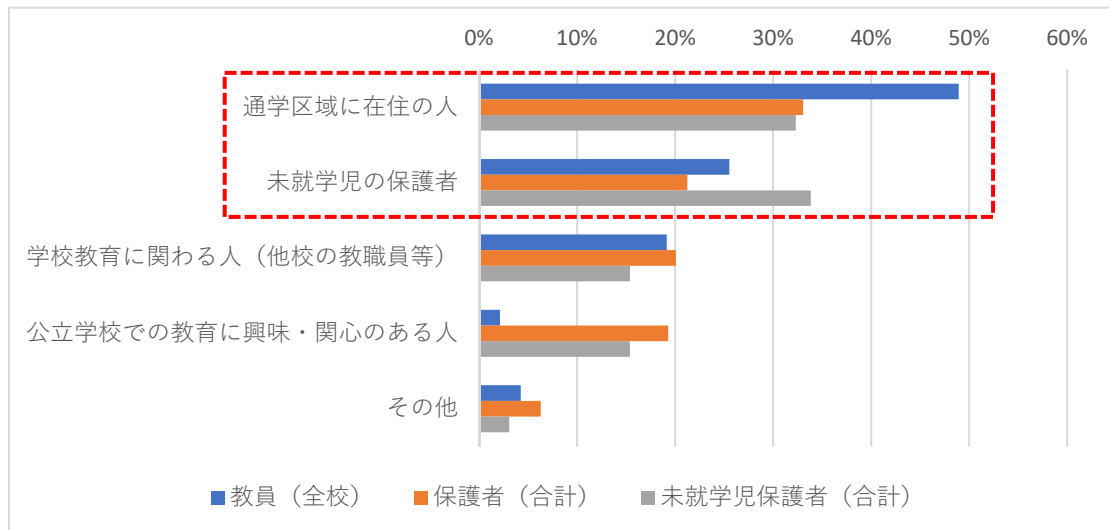
検討組織のメンバー構成としては、「学校関係者(校長など)」の28%をはじめ、「保護者(PTA役員など)」24%、「地域住民(自治会役員など)」15%となっている。

検討組織は、どのようなメンバーで構成すべきと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。									
全体		1 保護者 (PTA役員 など)	2 地域住民 (自治会役 員など)	3 学校関係 者(校長な ど)	4 市民公募	5 市議会議 員	6 有識者 (大学教授 などの専門 家)	7 その他	
選択数	185	45	28	51	24	11	26	0	
構成比	100%	24%	15%	28%	13%	6%	14%	0%	

3) -②「市民公募メンバー」(教員、保護者、未就学児保護者)

市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適切だと考えますかについては、「通学区域に在住の人」(教員49%、保護者33%、未就学児保護者32%)となっており、次いで、「未就学児の保護者」(教員26%、保護者21%、未就学児保護者34%)となっている。

- 市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適切だと考えますか。
(単数回答)



4) 教育環境

4) -①「学校で身に付けてほしいこと」(未就学児保護者)

学校で身に付けてほしいこととして、「基礎的な知識・技能」が21%、「協働性・協調性」20%、「思いやり・共感性」17%、「社会性」16%となっている。

お子さんが学校で身に付けてほしいことについて、特に大事と思うものを、次の中から3つまで選択してください。											
全体	1 基礎的な知識・技能	2 協働性・協調性	3 思考力・判断力	4 社会性	5 思いやり・共感性	6 表現力・説明力	7 主体性	8 責任感	9 体力	10 その他	
選択数	190	39	38	25	30	33	11	6	7	1	0
構成比	100%	21%	20%	13%	16%	17%	6%	3%	4%	1%	0%

4) -②「学校教育に求めるもの」(未就学児保護者)

学校教育に求めるものとして、「確かな学力の定着と学力の向上」が23%、「いじめ対策・不登校対策の充実」16%、「児童生徒の体力の向上」13%、「道徳教育の推進」12%となっている。

あなたが、学校教育に求めるものについて、次の中から3つまで選択してください。															
全体	1 確かな学力の定着と学力の向上	2 小中一貫教育の推進	3 ICT教育の推進	4 道徳教育の推進	5 いじめ対策・不登校対策の充実	6 人権教育の推進	7 児童生徒の体力の向上	8 学校保健の充実	9 食育の推進	10 進路指導・キャリア教育の充実	11 特別支援教育の推進	12 学校における相談体制の充実	13 英語教育の推進	14 その他	
選択数	176	40	3	10	21	29	13	22	4	3	10	1	6	11	3
構成比	100%	23%	2%	6%	12%	16%	7%	13%	2%	2%	6%	1%	3%	6%	2%

4) -③「どのような学校を望みますか」(未就学児保護者)

どのような学校を望みますかについては、「時代に合った教育が実践されている」が23%、「安全な経路で通学できる」22%、「通学距離が短い」15%となっている。

お子さんが学校に入学する時、どのような学校を望みますか。次の中から3つまで選択してください。													
全体	1 友達が多く入学する	2 特色のある授業が行われている	3 教員育成が図られている	4 時代に合った教育が実践されている	5 クラス替えができる学校	6 児童生徒数の少ない小規模な学校	7 地域の人とのつながりがある	8 通学距離が短い	9 安全な経路で通学できる	10 学校が新しく設備が整っている	11 クラブ・部活動が活発	12 その他	
選択数	186	13	7	15	43	8	1	9	28	41	15	5	1
構成比	100%	7%	4%	8%	23%	4%	1%	5%	15%	22%	8%	3%	1%

(3) アンケート調査結果（まとめ）

1) 学校規模に関すること

1) -①「小規模校のメリット・デメリット」において、保護者及び教員で、保護者はメリットの方が大きいと感じ、教員はデメリットの方が大きいと感じており、小規模校に対する捉え方に差異がある結果となっている。差異が生まれる背景として、教員数が少ないことによる1人当たりの教員が担当する校務分掌が多いこと等が考えられる。また、「クラス替えができない」こと等のデメリットをカバーするため、教員集団には、豊かな経験や高い力量が求められることから、1人当たりの教員が担う責任も大きくなること等も差異が生まれる背景として考えられる。

なお、保護者の66%はメリット側を選択しており、デメリット側の34%を大きく上回る結果となった。また、1) -②「現在の規模で困っていること等はあるか」においても、65%の保護者は「ない」を選択しており、現状についてはメリットの方が大きいと感じていることがうかがえる。一方、教員においては、メリット側44%、デメリット側56%となっており、デメリットの側面を感じている結果となった。また、1) -①-1の教員歴別に見ると、教員歴15年未満の教員においては、62%がメリット側を選択しているが、反面、教員歴が15年以上になると、69%がデメリット側を選択している結果となった。このことは、教員として多くの学校（規模）を経験したことによる総合的な判断であると考えられる。

「小規模校のメリット・デメリット」や「現在の規模で困っていること等はあるか」の回答理由は、メリットに関することとして「すべての先生がどの学年の子どもも把握してくれている」「子ども一人一人をしっかりと見て指導することができるから」「一人一人の距離の近さを特にメリットと感じる」等が挙げられており、保護者や地域との連携、きめ細やかな指導などに満足していることがうかがえる。一方、デメリットに関することとしては、「クラス替えができない」、「切磋琢磨する教育活動ができない」「クラブ活動や部活動の種類が限定される」等が多く挙げられており、人間関係の固定化の回避や切磋琢磨したり、協力したりする環境を望んでいることがうかがえる。

また、これから入学を予定している未就学児保護者の回答としては、1) -③「1学年あたりの適切と考えるクラス数」は、「3クラス」59%、「2クラス」29%となっている。一方、「1クラス」は全体の3%であった。1) -③-1「クラス数選択の理由」によると、「クラス替えがあり人間関係が固定化しない」17%、「教員の目が行き届きやすい」15%、「広い交友関係の構築を期待できる」11%、「深い交友関係の構築を期待できる」10%となっており、人間関係の固定化の回避、教員の目が行き届きやすく、かつ、交友関係を考慮した結果、「3クラス」程度が適切であると考えていることがうかがえる。

小規模校における教員の負担感についてアンケート調査をおこなったところ、1) -④「教員 1 人あたりの負担感」は、77%の教員が適正規模校（1 校あたり 12 学級から 18 学級）と比べて、小規模校における教員 1 人あたりの負担が大きいと感じている結果となった。教職員の定数は、学級数に応じて各都道府県ごとに定められており、一般的に小規模校では、教職員配置の人数が適正規模校に比べて少ないため、1 人あたりの業務量が増加するなど、さまざまな負担が全体的に増加することが課題となっているが、検討対象校においても同様の状況が見受けられる結果であった。

本アンケートの「小規模校のメリット・デメリット」において、保護者はメリットの方が大きいと感じている。このような評価を得ることができたのは、学校としての取組はもとより、現場教員の個々の取組・尽力による面も大きいと思われる。ただし、一般的に教職員の加配なしには、習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導体制をとりにくいことや、現場教員 1 人当たりの業務量の増加等が課題となっている。また、本アンケートにおいても小規模校における教員 1 人あたりの負担が大きいと感じている回答が多くを占めている状況である。このような状況下においては、教育環境の維持に懸念が残ると共に、児童生徒に身に付けさせるべき資質・能力を着実に育むことができる教育環境の提供と、学校を支える教職員の組織体制や勤務環境の充実といった持続可能な教育環境の確保は、喫緊の課題であると考ええる。

2) 学校再編に関すること

2) -①「学校規模適正化のメリット（効果）、期待すること」として、「クラス替えなどができるようになる（人間関係に配慮した学級編制ができる）」が教員・保護者共に概ね 17%、「人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる」が教員 17%・保護者 15%、「クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる」が教員 14%・保護者 19%、「学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境は作れる」が教員・保護者共に概ね 11%となっている。教員と保護者の構成比で差異が大きかったものは、「教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行えるようになる」は教員 14%・保護者 7%、「学校間の教育効果の偏りがなくなる」は教員 4%・保護者 9%となっている。教員にとって、教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行われていることは、重要な要素であると考ええる。

また、同設問において、「学校再編で得られるメリットは低い（又は特にない）」を選択した回答者は、教員 2%、保護者 3%となっており、前述の 1) -①でメリット側を選択した回答者においても、デメリットの解消方法として、学校再編による学校規模適正化にはメリット（効果）があると考え、期待していることがうかがえることから、今後、詳細な意見聴取を要するものと考ええる。

2) -②「学校再編に望ましい手法」としては、「通学区域の見直し」(保護者 33%、未就学児保護者 25%)、「通学区に関係なく、希望する学校に就学できるようにする(学校選択制)」(保護者 18%、未就学児保護者 29%)、「他の小学校(中学校)との統合を行う」(保護者 17%、未就学児保護者 18%)、「適正な教育環境は確保されれば手法にはこだわらない」(保護者 13%、未就学児保護者 16%)となっている。なお、「どんなに生徒数が減っても問題ない(学校再編をする必要はない)」と考えている保護者は 6%、さらに、未就学児保護者においては 3%となっており、児童生徒数の減少については、対策を講じる必要のある課題として、広く捉えられていることがうかがえる。

3) 学校再編の検討組織に関すること

3) -①「構成メンバー」(未就学児保護者)としては、学校関係者(校長など) 28%、保護者(PTA 役員など) 24%、地域住民(自治会役員など) 15%となっている。また、同様に未就学児保護者において、市民公募は 13%となっている。なお、3) -②「市民公募メンバー」においては、「通学区域に在住の人」(教員 49%、保護者 33%、未就学児保護者 32%)がもっとも多く、次いで、「未就学児の保護者」(教員 26%、保護者 21%、未就学児保護者 34%)となっており、学校や地域の実情を踏まえた検討を望んでいることがうかがえる。

4) 教育環境に関すること

4) -①「学校で身に付けてほしいこと」(未就学児保護者)においては、「基礎的な知識・知能」 21%と共に、「協働性・協調性」 20%、「思いやり・共感力」 17%、「社会性」 16%といった集団生活の中で育まれる人間性を重視している結果となった。

おわりに

学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的資質を養うこと等を目的としている。このため、学校では、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要である。そうした教育を十全に行うためには、一定の規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員集団が配置されていることが望ましいものと考えられる。

本アンケート調査結果をもとに、児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に今後の学校の在り方を考え、子供たちの学びに望ましい学校規模の実現に向けて、検討を進めていく。

3. 対象者別 アンケート集計結果

(1) 教員

教員用アンケート設問

No.	設問文
問 1	現在の学級数・学校規模についてお伺いします。
-1	小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)
-2	「問 1-1」の回答をした理由を教えてください。(自由記述)
-3	小規模校は、適正規模校(1校あたり12学級から18学級)と比べて、教員1人あたりの負担が大きいと思うことはありますか。(1つ選択)
-4	「問 1-3」の回答をした理由を教えてください。(自由記述)
問 2	学校再編についてお伺いします。
-1	学校再編による学校規模適正化のメリット(効果)について、お考えに近いものを教えてください。(複数選択可)
問 3	学校再編の検討組織についてお伺いします。
-1	市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適切だと考えますか。(1つ選択)
問 4	回答者についてお伺いします。
-1	あなたの教員歴(臨任も含む)を教えてください。
問 5	全体を通してお伺いします。
-1	「子供たちの学びに望ましい学校」について、あなたの考えや思いを教えてください。(自由記述)

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数(全体)を基数として、小数点以下を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、回答比率の合計が100%にならない場合がある。

問1 現在の学級数・学校規模について

1) 小規模校のメリット・デメリット

小規模校のメリット・デメリットについては、「どちらかといえば、デメリットの方が大きい」が47%でもっとも多く、ついで「どちらかといえば、メリットの方が大きい」38%、「デメリットの方が大きい」9%となっている。

■全校（上段：実数、下段：%）

問1-1 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。（1つ選択）				
全体	メリットの方が大きい	どちらかといえば、メリットの方が大きい	どちらかといえば、デメリットの方が大きい	デメリットの方が大きい
47	3	18	22	4
100%	6%	38%	47%	9%

2) 「問1-1」の回答理由（自由記述） ※後述（自由記述意見参照）

3) 小規模校の教員負担

小規模校の教員1人あたりの負担については、「負担が大きいと思う」が51%でもっとも多く、「どちらかといえば、負担が大きいと思う」の26%と合わせ、7割以上が負担を感じている。

■全校（上段：実数、下段：%）

問1-3 小規模校は、適正規模校（1校あたり12学級から18学級）と比べて、教員1人あたりの負担が大きいと思うことはありますか（1つ選択）				
全体	負担が大きいと思う	どちらかといえば、負担が大きいと思う	どちらかといえば、負担が大きいと思わない	負担が大きいと思わない
47	24	12	9	2
100%	51%	26%	19%	4%

4) 「問1-3」の回答理由（自由記述） ※後述（自由記述意見参照）

問2 学校再編について

1) 学校再編のメリット（効果）

学校再編による学校規模適正化のメリット（効果）については、「クラス替えなどができるようになる（人間関係に配慮した学級編制ができる）」と「人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる」が共に概ね17%となっており、ついで「教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行えるようになる」と「クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる」が共に概ね14%、「学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる」11%となっている。

■全校

（左側：実数、右側：%）

問2-1 学校再編による学校規模適正化のメリット(効果)について、お考えに近いものを教えてください。（複数選択可）		
クラス替えなどができるようになる（人間関係に配慮した学級編制ができる）	33	17%
学校間の教育効果の偏りがなくなる	7	4%
人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる	32	17%
教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行えるようになる	26	14%
クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる	27	14%
学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる	22	11%
様々なグループ編制により、個別指導と集団指導の両方が可能となる	14	7%
学年内での習熟度別指導や専科指導等の多様な指導体制がとれる	10	5%
多くの教員の多様な価値観に触れて学習することで、資質を向上させられる	17	9%
学校再編で得られるメリットは低い（又は特にない）	3	2%
その他※	1	1%
全体	192	100%

※（その他） ・ 財政上のメリットのみ。ただ、このメリットは、大きい。

問3 学校再編の検討組織について

1) 検討組織の市民公募を行う場合の人選

市民公募を行う場合の人選については、「通学区域に在住の人」が49%でもっとも多く、ついで「未就学児の保護者」26%、「学校教育に関わる人（他校の教職員等）」19%となっている。

■全校（上段：実数、下段：%）

問3-1 市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適切だと考えますか。 (1つ選択)					
全体	通学区域に 在住の人	未就学児の 保護者	学校教育に 関わる人(他 校の教職員 等)	公立学校で の教育に興 味・関心のあ る人	その他※
47	23	12	9	1	2
100%	49%	26%	19%	2%	4%

※（その他）

- ・ 都市計画を行う専門家
- ・ 様々な立場から複合的に意見を求める必要があると思います。

問4 回答者について

1) 教員歴（臨任も含む）

回答者の教員歴は、「10年以上～15年未満」が23%でもっとも多く、ついで「15年以上～20年未満」21%、「20年以上～25年未満」17%となっている。

■全校（上段：実数、下段：%）

問4-1 あなたの教員歴（臨任も含む）を教えてください。							
全体	0～5年 未満	5年以上 ～10年 未満	10年以 上～15 年未満	15年以 上～20 年未満	20年以 上～25 年未満	25年以 上～30 年未満	30年以 上
47	3	7	11	10	8	4	4
100%	6%	15%	23%	21%	17%	9%	9%

問5 全体を通して

- 1) 「子供たちの学びに望ましい学校について」（自由記述） ※後述（自由記述意見参照）

自由記述意見

問1-1 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)

問1-2 「問1-1の回答をした理由を教えてください。(自由記述)

■ 問1-1において、「メリットの方が大きい」「どちらかといえばメリットの方が大きい」と回答をした理由

① メリットに関すること

(1) 主に 学習指導・生徒指導 に関すること

- ・ 様々な場面で目が届きやすいところが1番良いと感じる。
- ・ 個別最適な学びの実現に向けて良いと思った。
- ・ 勉強、生活ともに一人一人に時間をかけられる。
- ・ 一人一人に目が行き届く、全職員で全生徒を見守る、指導するという意識が生まれる。
- ・ 細かく生徒の活動の様子を把握することができる。
- ・ 一人一人の児童をよく見ることができる。勉強や学校生活の様子など。
- ・ 一人一人の児童に目が行き届くため。
- ・ 子供一人一人をしっかりと見て指導することができるから。児童はきめ細やかな指導をしてもらえるから、一人あたりの使用する物や空間、人、時間等が必然的に多くなるから。
- ・ 教員として、児童一人一人に割ける時間が多く確保できる。
- ・ 1人1人を見られるのがすごく大きいと思う。そこで、よかったところや課題が見えやすくなるため対応がしやすいと感じた。
- ・ こどもたちへの支援は手厚く出来るから。
- ・ 教員同士の交流がしやすく、連携がとれやすい。また、全校児童の実態を把握しやすく、共通理解しやすい。体育館などの利用がしやすい。
- ・ WBGTが高く屋外で運動できないことがあったが、人数が少ないため体育館が余裕を持って使うことができ、体育の運動時間を確保できた。自分の担当学年を超えて1人1人と関わり把握することが出来るのでトラブルの早期発見にもつながっている。
- ・ 全生徒を把握しやすい。共通理解がとりやすい。

(2) その他

- ・ 今勤務している学校が小規模校で過ごしやすいから。
- ・ 入学者がいるならば、選択肢の一つとして小規模校があっただけいいと思う。
- ・ 小規模校という特徴からメリットを引き出すことができればプラスに働く。逆に、全ての学校が同規模になって数年間・教育を進めたとき、出来上がる可能性が高いのは平均化された大人かもしれない。現在求められているのは、各学校において特色が強くなることと、自分で学校を選べる自由だと考えます。

② デメリットに関すること

(1) 主に 教育活動 に関すること

- ・ 切磋琢磨することに慣れていないので、外に出ると緊張しやすくなってしまふ。
- ・ 集団による活動において、できる課題が限られてしまふ。

③ メリット・デメリットの両面に関すること

(1) 主に 学習指導・生徒指導、教育活動 に関すること

- ・ 家庭環境や学力差など、色々な違いがある児童一人一人と十分に向き合っていけることが利点だと思います。寄り添うことで救われる児童も多くいると思います。一方、切磋琢磨という点では十分に育ちきれていないのも現状です。

■ 問1-1において、「デメリットの方が大きい」「どちらかといえばデメリットの方が大きい」と回答をした理由

① デメリットに関すること

(1) 主に 学級編制、学習指導・生徒指導 に関すること

- ・ クラス替えができず、人間関係が固定化する。
- ・ クラス替えがないことで、人間関係が固定化してしまふ。いじめ等の生徒指導上の問題が発生すると、その問題を抱えたまま小学校6年間を過ごすことになってしまふ。
- ・ 「生徒指導上課題がある子供の問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける」というところが一番デメリットかと思います。また、「クラス替えが全部又は一部の学年でできない」ことで、環境が変わりにくく雰囲気停滞してしまふ可能性が高いと思います。
- ・ トラブル発生後にクラスを分けて物理的距離をとることが難しい。授業や学校行事でグループ分けをする際に、多様な分け方ができない。単学級のため、運動会等の競技では、チームへの所属感が持ちづらい。
- ・ クラス替えができないことによる人間関係の固定化は生徒の発達に望ましくない。
- ・ 学級のメンバーに変わりがないことで人間関係において負担に感じている児童を多く見てきたから。
- ・ クラス替えがなく、人間関係が固定し、修復しにくいから。
- ・ 何年も単学級が続くと、人間関係が固定化され、関係が悪化すると逃げ場がない。
- ・ 他学級がないことで、学年の意識が生まれにくい。できれば、学級の人数は20人程度で2~3学級あるとよい。
- ・ リーダーや人間関係が固定化されてもクラス替えで一新できない。清掃活動や委員会活動で生徒及び教員の数が足りず、一つの委員会が2つ分の委員会の仕事内容を担当しているなど負担が大きすぎるため、心に余裕が生まれにくい。部活動が部員不足でどんどん廃部になっている。競争心が育たないし、クラス替え等で新たな人間関係を構築する機会もないため、人間関係づくりが苦手な生徒が多いし、ずっと同じような人間関係でのポジションで自己肯定感も向上しにくい。

- ・ クラス編成の難しさを感じる。また、職員の人数が少ないため、一人一人教科指導と校務分掌が大変である。
- ・ 特に、問題行動のある児童が複数いた場合。
- ・ 中学校の場合教科担任制なので、各教科の教員の配置が十分にできなくなると、学校運営上支障が大きい。
- ・ 限られた人間関係の中での生活のため、コミュニケーション能力の不足や多様性などを認める雰囲気欠如する傾向になってしまうのではないだろうか。

(2) 主に 教育活動 に関すること

- ・ 実際、小規模校に勤めているので、クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができないことが大きなデメリットであると強く感じます。学校行事、勉強などで仲間と競争する機会が少ないのは残念です。
- ・ 真のリーダーを育てにくい。長年同じ環境で同じメンバーで生活をしており自分自身を変えるチャンスを生かせる環境にない。お互いを牽制しあっており個々の良さを発揮させてやれない。とてももったいない。
- ・ 委員長や生徒会本部役員を決める際、相応の能力がなくとも立候補すれば選ばれる場合が多いため。
- ・ 少ない人数の中で決まった人間関係の中で過ごすよりもたくさんの友達と関わり合い成長してほしいので。
- ・ 中・大規模校の生徒が当然得られる体験や教育的効果を、小規模校の生徒は得られないことがあるから、様々な活動に制約が生じることで、生徒の経験が少なくなってしまう。
- ・ 教員数が少なくなると、運営できる部活動の数が少なくならざるを得ず、適性規模校の生徒と同程度の選択肢が用意できない。

(3) その他

- ・ 財政上の理由から。
- ・ メリットに出されているものは、工夫しだいで小規模校以外でもできると思うが、デメリットで出されたものは人数に関係するため、解決が難しいと感じたから。

② メリット・デメリットの両面に関すること

(1) 主に 教員配置、学校管理・運営 に関すること

- ・ 児童は少なくても良いが、教員数も少ないために、一人当たりの仕事量が多くなる。

(2) 主に 学習指導・生徒指導 に関すること

- ・ 児童の質の問題だと思います。落ち着いている児童ならば、手厚い指導ができる。また、地域の方々の見守りがとても手厚い。

(3) その他

- ・ 学級の人数が 25 人より少ないのであれば小規模校の方がよいが、単学級だけど学級の人数が 30 人を超えてくるようだとメリットが少ない。

問1-3 小規模校は、適正規模校（1校あたり12学級から18学級）と比べて、教員1人あたりの負担が大きいと思うことはありますか。（1つ選択）

問1-4 「問1-3の回答をした理由を教えてください。（自由記述）

■ 問1-4において、「負担が大きいと思う」「どちらかといえば、負担が大きいと思う」と回答をした理由

- ・ 校務分掌やその他業務の受け持ちがとて多く大変である。
- ・ 校務分掌はもちろん、学年行事ひとつとっても負担がかなり大きいと感じます。
- ・ 校務分掌の量が多い。
- ・ 校務分掌も人数に合わせて削減しても良いと思うため。
- ・ 教員一人当たりが受け持つ校務分掌の数が多い。
- ・ 出張等による授業の補欠に入る数が、中・大規模校よりも多くなる。
- ・ 学校を運営する上で、省ける校務分掌はないので、一人が受け持つ分掌は多くなる。
- ・ 一人あたりの校務分掌の数が増え、負担が大きい。
- ・ 担当する校務分掌が多いため。
- ・ 分掌等が増える。
- ・ 校務分掌は複数の主任を持つことが多く、出張等もその分多くなる。長期休業中の日直の回数も多くなり、年休等をとる機会が大規模校より少ない。
- ・ 校務分掌、2学年、3学年教科担当することになり、教材研究、準備にかなりの時間を費やす。毎日自宅に持ち帰り準備を行っている。さらに担任の仕事もあり精神的にも負担がかなり大きい。
- ・ 校務分掌、学年での分掌の担当数や日直が多い、また複数学年にまたがって授業を持つことが大きな負担になっているため、業務の適正人数での分散ができないし、余裕がなく働き方改革に逆行している。生徒一人ひとりを細かく見る時間的余裕も生み出せない。各学年の所属数・各委員会・部活動に配置される教員数が不足している。小規模校での勤務には限界を感じる人が多い。
- ・ 1人の教員に複数の分掌を割り当てるので、1人あたりの教員の事務量や出張の数が増えてしまう。
- ・ 教員の人数が少ないので、複数学年の授業を受け持つことになり、教材研究や定期テスト作成等の負担が大きい。
- ・ 校務分掌が兼務になり、出張等で授業に影響するため。
- ・ クラス編成の難しさを感じる。また、職員の人数が少ないため、一人一人教科指導と校務分掌が大変である。
- ・ 校務分掌の担当が増える。
- ・ 周りと業務を分けることが難しい。
- ・ 教員の仕事を分担することができず、中規模、大規模校と同様の仕事内容を求められるから。
- ・ 学年の仕事を一人で言い、担当する主任も多くなるから。
- ・ 校務分掌をいくつも兼ねなくてはいけないことと、学年でやる仕事を1人でやらなくてはいけないから。
- ・ 分掌が多い。

- ・ 大規模校は大規模校としての負担があると思うが、教材の用意等、人数がいる分仕事を分散できるため。
- ・ 1人1人で抱える仕事量が多い。自分で責任を持って取り組む仕事が多い。
- ・ 学級担任の場合、学級、学年すべてのことを一人で担わなければならないため。また、一人あたりの校務分掌の担当数が多くなるため。
- ・ 特に校務分掌の負担が大きい。
- ・ 職員一人一人で判断して動くことが増えるので、力のある方は楽しめるが、そうでない場合は負担に感じるだろう。
- ・ 学年の仕事をすべて1人で受け持つことや、校務分掌の主任が3つぐらいあって負担が大きいから。
- ・ 教員の人数が少ないので負担が大きくなると思います。学年の仕事を担任一人で行う必要があったり、担当する校務分掌の数が多くなったりして大変だと感じています。
- ・ 1人あたりの校務分掌が多い。学年の仕事を分担できない。
- ・ 校務が多く回ってくる。
- ・ 学年の先生が一人ずつしかいないので、学年の仕事をすべて一人で行う必要がある。また、それぞれに割り当てられる主任や仕事も多い。
- ・ 学年の便り、掲示、指導などを一手に引き受けることになる。また、分掌で主任を持つ数も多い。
- ・ 会計等全て行うことや、隣のクラスで授業で何をやっているか、近くにクラス担任がいなくて相談できないこともあったため。
- ・ 割り当てられる分掌が多いと思うから。

■ 問1-4において、「負担が大きいと思わない」「どちらかといえば、負担が大きいと思わない」と回答をした理由

- ・ 絶対数が少ないため、大規模校に比べると負担が少ないかと思います。担当する教科等にもよるとは思います。
- ・ 大規模校を経験してきて、今年度小規模校に着任したが、一人一人が仕事をしっかりとこなす雰囲気があり、仕事の負担が大規模校に比べて、偏っていないと感じる。
- ・ 担当する分掌や教科によってはもち時数が多いところも感じるが、働きやすい雰囲気がある。出張など工夫すれば大規模校よりも穏やかな雰囲気で仕事が進められる。
- ・ 担当する生徒が少ないので、生徒に関する仕事の一回の量が少ないが、受け持つ分掌と担当する授業の種類は増えるので、何年かいて、仕事になれば過ごしやすい。
- ・ 担う仕事の種類は多いが、関わる生徒数が少ないので、数年間いて仕事を覚えれば大規模校より負担が減ると思うから。また、様々な仕事をする事で自分のスキルアップにつながり、仕事が早くなるので結果として早く帰れるようになる。
- ・ 持っている校務分掌は多いが、関係する数人に確認を取れば進むのでスムーズにすすむ。
- ・ 校務分掌や行事等の負担はわり算的に大きい。しかし、児童数を考えると〇つけ等の事務処理にかかる時間は少ない。単学級だと会計等は一人で大変だが、学年経営イコール学級経営となるため負担は軽減される。

- 全体の児童数が少ないので事務処理も早く終わっているため。人数が少ない分融通が利くので校務分掌も負担に感じていない。
- 分掌等は多くなり出張が増えることはありますが、少人数のため、情報の共有や連絡・相談がスムーズに行うことができるので負担感はないです。

問5-1 「子供たちの学びに望ましい学校」について、あなたの考えや思いを教えてください。(自由記述)

(1) 主に 学級編制、学習指導・生徒指導、教育活動 に関すること

- ・ 多くの考えや意見にふれ、切磋琢磨し、考えの幅や正しい良し悪しを考えられる生徒の教育。
- ・ 子どもたちが切磋琢磨、互いに成長できる環境を整えて、一人一人の個性を高め伸ばせること。将来に夢や希望が持てるような学びの場であって欲しいと願っています。
- ・ 小さな社会しか知らない井の中の蛙状態になっており、大会など外部に出たときに緊張して実力を発揮できない。また、修学旅行について、人数が少ないため一人あたりの金額が割高なのに宿舎はランク・規模が他校より低い旅館で、従業員が少ないためか質素な食事メニューで、中規模・大規模校とはあまりにも違い、機会の平等性に欠けているのが実情だと感じた。適正な人数・クラス数・部活動数が保障され、普通に経験できることが普通に提供できる学校が望ましい。正直なところ、小規模校にメリットを感じることはほとんどなく、生徒が本来経験できる機会が奪われているので、統合して適正な学級数で切磋琢磨できる環境を与えたほうが良いと思います。
- ・ 私自身小規模校に務めて、たくさんの人(大人含め)と触れ合うことで子供たちも色々な刺激を受けて、成長していくのだなと改めて感じました。
- ・ 個を大切し、様々な人間関係を育み、集団で協力したり、切磋琢磨したりできるところ。
- ・ 一人一人が活躍しやすい学校。
- ・ 子供たちの考えを活動に活かすことができ、様々な考え、価値観に触れることができる学校。
- ・ 決まった人間関係ではなく、様々な人とふれあいながら学んでほしいです。
- ・ 多様な考え方を認められる学校。様々な人とのふれ合いから、多様な考えをもてるようになる学校。
- ・ 個をしっかりと見ることができる学校。(学習、生活共に) 集団生活の中で多くのことを学び、それを将来に生かすことができる学校。
- ・ 色々な人と関わり、いろいろな体験をすることが子供達にとって学びになると考える。
- ・ ひとりひとりが自分の居場所を見つけられることが大切だと思います。そのために、学校環境を整えることも大事だと思います。
- ・ 生徒が考える習慣がある学校。
- ・ 子どもに選択肢を与え、自分が選択して行動する責任と達成感を味わせながらも陰で支援する学校。
- ・ 楽しく安全に過ごすことができ、家庭ではできない学びができる場所。
- ・ 学習する環境が整っている、学習規律がしっかりしている学校。

- ・ 確かな学力、豊かな心を身に付けられ、心理的安全の確保された学校。
- ・ 一人一人の児童の状況をよく把握して、必要な支援が行える学校。
- ・ 個をしっかりと見ることが出来る学校。(学習、生活共に) 集団生活の中で多くのことを学び、それを将来に生かすことができる学校。
- ・ 単純に在籍人数だけでなく、通学距離なども考慮して再編が必要か検討すべき。
- ・ 生徒一人一人にタブレットがいきわたる学校。
- ・ どのような形になっても、子供たちが安全で安心して通うことのできる学校を目指していきたいです。
- ・ みんなが笑顔でいられる学校にしたいです。

(2) 主に 教員配置、学校管理・運営 に関すること

- ・ 職員が過ごしやすく、仕事が整理されていることによって職員に余裕がある学校。それを実現するためには、現場の負担を減らすことが最優先だと思います。ゆとりの中でこそ実現できると思います。
- ・ 集団の中での学び合いとともに、個に応じた学びを提供するためには、教員の数が必要となります。小規模校の良さを適正規模の学校でも実現できるように、検討・対策の上で実施されることを望みます。
- ・ 充実した学習環境と適正な人数の教員が配置されていること。
- ・ どのような環境であっても子供たちにたくさんの学びと豊かな経験をさせられるよう、教員は努力するしかない。
- ・ 三位一体(生徒、保護者、教職員)が互いに尊重しあい、協力し合える雰囲気がありこと。教職員チームワーク。

(3) 前述の (1) 及び (2) の両面 に関すること

- ・ 児童数の多寡が問題ではなく、アットホームな小規模校なりの良さがある。しかし、学習形態やクラブ活動、学校行事等で、教育活動の多様性が確保できないものもある。職員一人当たりの負担も他校に比べて大きく、子供と向き合う時間の確保の点でも課題がある。よって、学校の適正規模化と学校の再編を行うことが、子供たちの学びの質を高めることにつながると考える。
- ・ 少人数学級で手厚くサポートをしつつ、複数の学級があることで学年の意識などが生まれる学校がよい。教員が働きやすいきいきとしている職場は、子供もいきいきとしたいと思います。業務改善を進めて教材研究の時間をもっと取れるようにしていただきたいです。そうしたら、もっと工夫した授業を行うことができると思います。
- ・ 少人数による良さは全体の人数が少ないことで教員の負担軽減になること(丸付けなど)、一人一人に目を掛けることが出来ることと考えます。保護者が忙しくて子どもを見られないといった地域環境では少人数学級は適しているのではないかと思います。一方で、1クラスが故にスクールカーストが固定化されてしまう、行事は準備する教員が少なくて等の課題もあります。2クラス併行くらいの規模が子どもを把握できてほどほどに発表の場もあり、クラス替えの自由度も少しあって良いのではないかと思います。

- ・ 学級数は個人的には3クラスから4クラスが望ましいと思っています。2クラスでは、学年主任の意向が強くなりすぎ、主任ではない先生が息苦しさをを感じる場面もあります。逆もあるかと思います。また、クラス数が多くなりすぎても、まとまりが取りづらくもなります。子どもたちへ良い教育を届けるためには、教員の団結あってこそだと思いますので、あったものが無くなるというのは寂しいものではあります。学校の合併は必要なものであると思っています。様々なご意見あることと思いますが、どうぞ一意見ですが活用していただければと思います。よろしくお願いいたします。
- ・ 充実した学習環境と適正な人数の教員が配置されていること。

(4) その他

- ・ 小規模校のメリットももちろん多くあるが、あまり小規模になり過ぎてしまうとデメリットが増えてくる。適性規模の学校にしていくことが望ましいと考える。
- ・ 実行すべき課題。その後は、売却、貸与、あるいは、無償譲渡すべき。

(2) 尾山台小学校 保護者

保護者用アンケート設問

No.	設問文
設問 1	現在の学級数・学校規模についてお伺いします。(中略) 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)
設問 2	上記の理由を教えてください。(自由記述)
設問 3	現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)
設問 4	上記の理由を教えてください。(自由記述)
設問 5	学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。(複数回答可)
設問 6	学校の再編に期待することは何ですか。お考えに近いものを教えてください。(複数回答可)
設問 7	学校再編の検討組織についてお伺いします。(中略) 市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適当だと考えますか。(1つ選択)

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数(全体)を基数として、小数点以下を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。

設問 1 現在の学級数・学校規模について

■ 小規模校のメリット・デメリット

小規模校のメリット・デメリットについては、「どちらかといえば、メリットの方が大きい」が49%でもっとも多く、ついで「どちらかといえば、デメリットの方が大きい」28%、「メリットの方が大きい」13%となっている。

(上段：実数、下段：%)

設問 1 現在の学級数・学校規模についてお伺いします。(中略) 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)				
全体	メリットの方が大きい	どちらかといえば、メリットの方が大きい	どちらかといえば、デメリットの方が大きい	デメリットの方が大きい
99	13	49	28	9
100%	13%	49%	28%	9%

設問 2 「設問 1」の回答理由 ※後述(自由記述意見参照)

設問 3 困っていることや不安

現在の学級数・学校規模に対する困っていることや不安については、「ある」34%、「ない」65%となっている。

(上段：実数、下段：%)

設問 3 現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)		
全体	ある	ない
99	34	65
100%	34%	66%

設問 4 「設問 3」の回答理由 ※後述(自由記述意見参照)

設問5 学校再編について

■ 学校を再編する手段

学校を再編する手段については、「通学区域の見直し」が35%でもっとも多く、ついで「他の小学校との統合を行う」16%、「通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする（学校選択制）」と「適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない」が15%となっている。

(左側：実数、右側：%)

設問5 学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。(複数回答可)		
通学区域の見直し	62	35%
他の小学校との統合を行う	28	16%
小学校と中学校で統合を行う	16	9%
通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする(学校選択制)	27	15%
適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない	27	15%
どんなに生徒数が減っても問題ない。(学校再編をする必要はない)	13	7%
その他※	5	3%
全体	178	100%

※ (その他)

- ・ 個人的意見、統廃合せせるといふよりは、小規模のメリットを生かしていく為にも通学区域の見直しを計り、尾山台小を生かしつつバランスよく生徒の配分が出来る事が望ましく思います。
- ・ 学校編成を行うということは、今より通学距離が長くなる子が絶対的に増えるということ。
- ・ 小規模校のメリットもあるので、まずはひと学年に2クラス出来ればと思います。統合だと大掛かりになるので、通学区域の見直しから段階的に行って欲しいです。
- ・ 条例はイジメに対して、起こらないようにすること、速やかに教育委員会に報告する等が主になっている。起こった後に、どうするのかを一定のスキームが必要。また、保護者への説明を個別にするのではなく、全員が発生した内容について共通の認識が持てるスキームにするべき。統廃合以前の問題に対してある程度の説明がない状況で統廃合を進めるべきではない。現状の課題に対しても対策をした計画に導入すべき。
- ・ 逃げ場がありません。学区についても以前とは交通状況とは全く違うので再編する必要があるとも思います。また、近いのに行けない学校がある。おかしいと思います。学区にこだわる必要は何なのか。理解に苦しみます。早期の改善を、望みます。

設問6 学校の再編に期待すること

学校の再編に期待することについては、「クラス替えなどができるようになる（人間関係に配慮した学級編制ができる）」が20%でもっとも多く、ついで「人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる」16%、「クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる」15%となっている。

（左側：実数、右側：%）

設問6 学校の再編に期待することは何ですか。お考えに近いものを教えてください。 （複数回答可）		
クラス替えなどができるようになる（人間関係に配慮した学級編制ができる）	67	20%
学校間の教育効果の偏りがなくなる	26	8%
人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる	54	16%
教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行えるようになる	24	7%
クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる	49	15%
学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる	40	12%
様々なグループ編制により、個別指導と集団指導の両方が可能となる	21	6%
学年内での習熟度別指導や専科指導等の多様な指導体制がとれる	23	7%
多くの教員の多様な価値観に触れて学習することで、資質を向上させられる	24	7%
特にない	6	2%
その他※	2	1%
全体	336	100%

※（その他）

- ・ ハズレの教員に当たる確率が減る。
- ・ 適正な学区編制。自宅は尾山台小よりも原市南小の方が近い距離にあります。

設問 7 学校再編の検討組織について

■ 検討組織の市民公募を行う場合の人選

市民公募を行う場合の人選については、「通学区域に在住の人」が 33%でもっとも多く、ついで「公立学校での教育に興味・関心のある人」23%、「未就学児の保護者」20%となっている。

(上段：実数、下段：%)

設問 7 学校再編の検討組織についてお伺いします。(中略) 市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適当だと考えますか。(1つ選択)					
全体	通学区域に 在住の人	未就学児の 保護者	学校教育に 関わる人(他 校の教職員 等)	公立学校で の教育に興 味・関心のあ る人	その他※
99	33	20	18	23	5
100%	33%	20%	18%	23%	5%

※ (その他)

- ・ 卒業生や卒業生の保護者、地域貢献者(地域ボランティアなどで活動している人)、過去に PTA 会長や役員をした人。
- ・ 子どもたちのことを一番に考えられるひと。
- ・ 子育て世代の意見重視。
- ・ 学校教員、PTA 役員、保護者、幼稚園関係者、自治会。
- ・ 統廃合の時期に通学される予定のお子さまのいるご家庭。実際、対象者ではない人に聞いてもあまり意味がないと思います。

自由記述意見

設問1 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)

設問2 上記の理由を教えてください。(自由記述)

■ 設問2において、「メリットの方が大きい」「どちらかといえばメリットの方が大きい」と回答をした理由

① メリットに関すること

(1) 主に 学級編制 に関すること

- ・ 友だちに恵まれているが故の理由ですが、クラス替えがなくずっと一緒なので、団結力が高まる。
- ・ 男女共にとっても仲良しで、優しい子も多く良いクラスだからです。
- ・ 子どもは、人数が多いことによるストレスがあるのではないかと考えているようです。(それだけ自分と合わないクラスメイトが増える)なので、小規模校で良かったそうです。
- ・ 児童ごとの個性を他のクラスメイトが理解できるので、お互いにフォローできる。

(2) 主に 学習指導・生徒指導 に関すること

- ・ ひとりひとりに、目が届きやすいと思う。
- ・ 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。
- ・ 児童に先生方が目を配りやすいですし、様々な活動において1つのグループが少人数なので活動しやすいと思います。
- ・ すべての先生がどの学年の子どもの事も把握してくれているので、相談事やちょっと学校へ行った際でも安心してどの先生にもお話する事が出来ます。先生方が一人一人に寄り添って指導や相談に乗ってくれるので心強いです。
- ・ 先生が生徒をしっかり見てくれそう。
- ・ 息子たち二人ともが1学年1クラス的环境でしたが、デメリットは無かったと思う。小規模だったからこそ、コロナの流行も避けられたし、パソコンも一人一台もらえたので、ズーム授業もできた。
- ・ 個別性にある指導を受けられる。
- ・ 少人数のため先生と全校生徒のふれあいが多く、手厚いサポートが得られています。
- ・ 目が届くはず。

(3) その他

- ・ 上記のメリットを実感しているから。
- ・ 中学校、高校、大学、社会。これから大人数での社会生活はいくらでもできるし、嫌でもしなくてはならなくなります。小学校の少数教育はとても大きなメリットです。人生のたった6年間です。少人数で制約が生じることなんてたかがしれています。

② デメリットに関すること

(1) 主に クラブ活動や部活動 に関すること

- ・ クラブ数が増えると嬉しい。

③ メリット・デメリットの両方に関すること

(1) 主に 学級編制、学習指導・生徒指導、教育活動 に関すること

- ・ 競争心には欠けてしまっていますが、生徒には様々な面で手厚さができると思います。また、マンモス校と比較したらいじめ等も少ないのかなとも思います。因みに我が子達は楽しんで学校に通えています。子供達に聞いたところ、原市南との統合は遠くなるから絶対に嫌だ！と、言っていました。
- ・ 先生が目がよく行き届いていてとてもいいが、合わない友だちがいると子どもは大変な思いをする。

(2) その他

- ・ 子供のトラブルや問題に周りが気付きやすいのが良い。ただ、あまりに小規模すぎるとデメリットの方が大きくなるように思う。
- ・ どちらかといえば、メリットもデメリットも両方とも感じるので、回答しづらい
- ・ 競争することが増えるのはいい経験だと思う。

■ 設問2において、「デメリットの方が大きい」「どちらかといえばデメリットの方が大きい」と回答をした理由

① デメリットに関すること

(1) 主に 学級編制、教育活動 に関すること

- ・ 6年という長い期間をクラス替えもなく環境の変化もなく過ごすことに不安が大きい。友達の影響も大きく受ける年頃に偏った友人関係が構築されないかという思いと、狭い世界で物事を考える環境を避けたい。「少ないから」という理由で他の学校と差が出るのではないかという心配がある。
- ・ メリットは全く感じられません。クラス替えもないため、合わない子供とも6年間同じクラスです。楽しいはずの学校生活が最悪の6年間になる上、不登校の可能性もあります。また、クラスでの比較もすることができないため競争心の教育【体育祭でのリレーや合唱コンクール等】ができないと考えます。これからの社会に出ていくにあたり多少なりとも競争心がなければ社会で通用する人間形成はできないと考えます。
- ・ 六年間クラス替えがなく何か友達と問題になった時、ずっと関係性が変わらない。人間関係の配慮。いじめがあった場合や問題行動の多い子がクラスにいる場合に、クラス替えが無いと他の子への影響がとても大きい。
- ・ クラス替えが無い。全校の教師人数に限られる。
- ・ 友達関係で、卒業するまでずっと同じクラスで付き合っていくのはキツイ事もある。

- ・ 6年間、クラス替えもなく決まった固定されて人間関係が続くことで幅広い人間関係を構築できない。何か嫌なことがあってもずっと続く関係、クラスであるため、逃げ場もできない。運動会や音楽会などのイベント、競技もダイナミックさにかける。中学校では、小規模で教員が少ないこと、生徒数が少ないことで選べる部活の選択肢が非常に少なく残念に思う。
- ・ クラス替えができないから。
- ・ クラス替えがないので、いじめを受けている子には、環境を変える逃げ場がなく選択肢が転校しかない。
- ・ クラス替えができない=合わない子との間でトラブルが絶えず子供のストレスが大。体力や知力に偏りがあると面白みがなく競争心も育たず、中高など大人数に馴染めなくなる恐れがある。
- ・ 人数が少ないとずっと同じクラスの仲間なので、嫌な子と離れられないから。また運動会や体育祭の盛り上がりにかけていたり、勉強面でも競い合う人数が少なくなるから。
- ・ 人間関係の固定化、弱肉強食化が進み弱い子は我慢するだけの学校生活になってしまう。
- ・ クラブ活動の種類が限られる。

② メリット・デメリットの両方に関すること

(1) 主に 学級編制、学習指導・生徒指導、教育活動 に関すること

- ・ 小規模校のメリットにあるいいことも大いにうなずける。が、今の尾山台小学校のように6年間1クラスという環境では小規模過ぎる。小学生のうちから大人数の中で社会性（周囲に対する心遣いも含めて）を身に付ける機会が少ないことは、将来社会の中で自分の力で生活していくうえでデメリットの方が大きいと思うため。
- ・ 6年間同じメンバーで過ごすので何か問題(いじめ)が起きた時に逃げ場がない。先生の目が行き届きやすかったり学年関係なしに友達ができるのはメリットだと思う。そして、授業もクラスを分けて進めることができるので個人の学習意欲も上がっている。
- ・ 1人1人への配慮はしやすく、指導もいきやすい。1人1台がタブレットを使えるなどのメリットもある。クラス替えがないことが、子供、保護者共にデメリットと考える。たくさんの友達と関わったり、また離れる環境があることで、人間関係も変わって来ると思うので。

(2) 前述の (1) 及び学校管理・運営、PTA に関すること

- ・ 子供1人ひとりに目は行きやすいが、先生、保護者の負担も増えるから。

(3) その他

- ・ 無理やりな回答をしました。現状はどちらとも言えず、判断しかねるというのが正しい回答になります。理由は、新しい学校のカリキュラムがそもそもわかりにくく、現状を改善及び向上させるためか疑問である。学力テストが全てではないが、結果が横ばいを続けている状態しか維持できない組織が本当に子供のことを考えているのか？また、子供たちの意見をどれだけ現状確認しているかも疑問。

設問3 現在の学級数。学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)

設問4 上記の理由を教えてください。(自由記述)

■ 設問3において、「ある」と回答をした理由

(1) 主に 学級編制、学習指導・生徒指導、教育活動 に関すること

- ・ クラス替えが六年間なし。
- ・ クラス替えが無いので交友関係が限定的になり友達が一定以上増えないのではと懸念している。
- ・ クラス替えがないため、いじめを受けても子供に逃げ場がない。
- ・ クラス替えが無い状態でいじめが起きること。
- ・ 1クラスだけなので、クラス替えがなく、人間関係が固定化してしまう。
- ・ クラス替えがないので、万が一いじめなどの問題が発生した場合でも変化なく毎日6年間同じ空間で過ごすことになる。学童に通っていても、クラスと同じメンバーのみという変化のない環境が続く。すでに子供はいつものメンバーでしか遊ぶ人がいないと言っている。
- ・ 1クラスしかないので、交友関係がうまくいかなかった時にどうしようもない。
- ・ 6年間1クラスのクラス替えなしできたので今後の友だち作り(人間関係を作っていくこと)ができるのか不安を感じる。
- ・ クラス替えがない。
- ・ 1クラスしかない。
- ・ 設問2の回答と同様(人数が少ないとずっと同じクラスの仲間なので、嫌な子と離れられないから。また運動会や体育祭の盛り上がりにかけていたり、勉強面でも競い合う人数が少なくなるから)。
- ・ 競争心が養われない事や、特に3年生の男子の少なさでの6年間は交遊関係が少なすぎてコミュカに欠けていきそうで心配しています。中学校に上がってから、人が一気に増えるので子供達が対応していけるのか、メンタル面も心配なところです。
- ・ 中学生になった時にクラス数が増えて同じ小学校の友達が分散する為、子供が不安になったり、馴染めるか心配。
- ・ 教員不足により、受けられない授業がある。
- ・ 幼稚園では比較的友達が、多いタイプでした。小学校では仲の良い友達が1人しかいません。習い事においてもすぐに友達ができますが小学校ではできません。授業参観でも座って授業を聞く子供が半数以上いませんでした。近隣小学校の話の聞くとあり得ないとのことでした。
- ・ 先生の言うことが聞けない子供が増えている。
- ・ 1クラスだけなのに、問題児が多く担任の負担が多い、担任が本当に大変な思いをしていると思うので教育委員会にも協力を得て学校全体でサポートをして欲しい。スクールカウンセラーを常駐させて欲しい。

(2) 主に PTA に関すること

- ・ PTAのあり方。

(3) 前述の (1) 及び (2) の両面 に関すること

- ・ 友達関係の問題が改善されない。PTA 活動など、保護者の関わりも負担の方が大きく協力できなくなる。
- ・ クラスに数人、騒いだりして授業をきちんと受けられない。それから一年生からクラスが1つなのでクラス替えもなく、PTA などの負担が増えたり困っている。

(4) その他

- ・ 小規模校が理由なのか不明だか、近隣の小学校は、5年生の林間学校は、2泊3日で他県に行くのに対して、なぜか尾山台小は、1泊2日で県内の秩父という差はなぜなのか。教員数の問題なのか、学校規模で人数が少ないと金額の問題なのか、同じ市内で同じ学年でここまで違うのは寂しく感じる。子供たちも近隣の学校の話聞きがっかりしている。
- ・ 些細なことですが、いじめに繋がる行為を受けることがあり、やっている子はいじめている自覚がないようで、この状況が全く改善されないことです。

■ 設問3において、「ない」と回答をした理由

(1) 主に 学級編制 に関すること

- ・ クラス替えがなくつまらないが、安心感はある。

(2) その他

- ・ 地域の方に顔を覚えてもらえて、声をかけてもらっている。
- ・ 交流がなくても、全員の顔、名前覚えられることは、地域で生活するにあたっていいことでしかない。1学年1クラスだろうとクラス20人以上いるのに統廃合するレベルではない。

(3) 平方北小学校 保護者

保護者用アンケート設問

No.	設問文
設問 1	現在の学級数・学校規模についてお伺いします。(中略) 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)
設問 2	上記の理由を教えてください。(自由記述)
設問 3	現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)
設問 4	上記の理由を教えてください。(自由記述)
設問 5	学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。(複数回答可)
設問 6	学校の再編に期待することは何ですか。お考えに近いものを教えてください。(複数回答可)
設問 7	学校再編の検討組織についてお伺いします。(中略) 市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適当だと考えますか。(1つ選択)

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数(全体)を基数として、小数点以下を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、**回答比率の合計が 100%にならない場合がある。**

設問 1 現在の学級数・学校規模について

■ 小規模校のメリット・デメリット

小規模校のメリット・デメリットについては、「どちらかといえば、メリットの方が大きい」が43%でもっとも多く、ついで「メリットの方が大きい」28%、「どちらかといえば、デメリットの方が大きい」20%となっている。

(上段：実数、下段：%)

設問1 現在の学級数・学校規模についてお伺いします。(中略)小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)				
全体	メリットの方が大きい	どちらかといえば、メリットの方が大きい	どちらかといえば、デメリットの方が大きい	デメリットの方が大きい
46	13	20	9	4
100%	28%	43%	20%	9%

設問 2 「設問 1」の回答理由 ※後述(自由記述意見参照)

設問 3 困っていることや不安

現在の学級数・学校規模に対する困っていることや不安については、「ある」39%、「ない」61%となっている。

(上段：実数、下段：%)

設問3 現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)		
全体	ある	ない
46	18	28
100%	39%	61%

設問 4 「設問 3」の回答理由 ※後述(自由記述意見参照)

設問5 学校再編について

■ 学校を再編する手段

学校を再編する手段については、「通学区域の見直し」が28%でもっとも多く、ついで「通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする（学校選択制）」21%、「他の小学校との統合を行う」18%となっている。

(左側：実数、右側：%)

設問5 学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。(複数回答可)		
通学区域の見直し	27	28%
他の小学校との統合を行う	17	18%
小学校と中学校で統合を行う	8	8%
通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする(学校選択制)	20	21%
適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない	13	14%
どんなに生徒数が減っても問題ない。(学校再編をする必要はない)	7	7%
その他※	3	3%
全体	95	100%

※ (その他)

- ・ 学区の見直しをしないから、児童数が片寄る。
- ・ 統合されて人数増えるのは子供達の友達の輪が増えるとは思うけど親の世代の時は人数多くて先生方もたくさんいたが何かあった時見て見ぬふりの先生も多く気に入らない生徒には何を相談してもその場だけで終わっているのが今の子供達にはそういうのはあって欲しくない。少人数制だからこそ相談もしやすいし対応もしっかりしてもらえています。
- ・ 遠くなるよりはマシです。

設問6 学校の再編に期待すること

学校の再編に期待することについては、「クラス替えなどができるようになる（人間関係に配慮した学級編制ができる）」と「クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる」が17%でもっとも多く、ついで「人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる」14%、「学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる」11%となっている。

(左側：実数、右側：%)

設問6 学校の再編に期待することは何ですか。お考えに近いものを教えてください。 (複数回答可)		
クラス替えなどができるようになる（人間関係に配慮した学級編制ができる）	26	17%
学校間の教育効果の偏りがなくなる	11	7%
人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる	21	14%
教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行えるようになる	10	6%
クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる	26	17%
学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる	17	11%
様々なグループ編制により、個別指導と集団指導の両方が可能となる	11	7%
学年内での習熟度別指導や専科指導等の多様な指導体制がとれる	12	8%
多くの教員の多様な価値観に触れて学習することで、資質を向上させられる	9	6%
特にない	8	5%
その他※	3	2%
全体	154	100%

※（その他）

- ・ 再編は現在の学区編成のままできることをしてもらえばいい。上記すべての内容より現在の学校に通えることのほうが重要。
- ・ 子供が楽しくわかりやすく学べることは望みますが、先生が大変じゃなくなるといいなとも思います。 ・ 統合を望んでないため。

設問7 学校再編の検討組織について

■ 検討組織の市民公募を行う場合の人選

市民公募を行う場合の人選については、「通学区域に在住の人」が33%でもっとも多く、ついで「未就学児の保護者」と「学校教育に関わる人（他校の教職員等）」が22%、「公立学校での教育に興味・関心のある人」15%となっている。

（上段：実数、下段：%）

設問7 学校再編の検討組織についてお伺いします。（中略）市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適切だと考えますか。（1つ選択）					
全体	通学区域に 在住の人	未就学児の 保護者	学校教育に 関わる人（他 校の教職員 等）	公立学校で の教育に興 味・関心のある人	その他※
46	15	10	10	7	4
100%	33%	22%	22%	15%	9%

※（その他）

- ・ 上尾市民で選挙すればいい。全員どちらがいいか、またはどちらでもよいでも何個かの選択肢でやる。一部で決めるから後で意見が出てくると思うので、意見を言いたい人全てがまず意見を言えたらと思います。
- ・ 今までも様々な方々から意見をいただいているかと思うので、誰と言うことはないんですが、ある程度強行に話をすすめてもらえる方に、結論を出してもらって良いかと思います。保護者の立場から言うと、みんなが再編し良くしようと思ってくださっている有難い話だと思っております。色々大変な作業かと思いますが宜しく願いいたします。
- ・ 外部委託。
- ・ 通学区域在住で、実際に再編の対象の学校に通っている、もしくは通っていた生徒、保護者か1番良いのではないのでしょうか。

自由記述意見

設問1 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)

設問2 上記の理由を教えてください。(自由記述)

■ 設問1において、「メリットの方が大きい」「どちらかといえばメリットの方が大きい」と回答をした理由

① メリットに関すること

(1) 主に 学級編制、学習指導・生徒指導 に関すること

- ・ 人数少ない分先生方がよく見てくれていて有難い。友達もずっと同じだからたとえケンカしてもすぐに仲良くなれる。勉強が出来ない子でもわかるまで教えてくれる。
- ・ 人数が少ない分、目が行き届き丁寧にみてもらえていると思います。
- ・ 先生が一人一人の生徒と関われる時間が多い。
- ・ 担任の先生が一人一人をしっかり見てくれる。担任の先生以外の先生も名前を覚えてくれている。他学年との交流が多い。親同士の交流も深まる。
- ・ 勉学については小規模の方が一人一人個別対応しやすいため。
- ・ 勉強が苦手で、ひらがなが読めなかったり、算数が全く出来なくて0点を取ったこともありましたが、先生が根気強く子供のペースに合わせて支援してくれたお陰で算数が得意だと自信をもって言えるようにまできました。少人数ならではの心配りのおかげだと感謝しています。また、目立つタイプではなく普通の学校なら埋もれてしまうような性格の子ですが、音楽会で前に出て鉄琴弾いたり、委員会で委員長を任せられたり、普通の学校なら絶対に体験できなかったことを経験できて、とても嬉しそうにしていました。私自身何も取り柄もなくその他大勢に埋もれていたもので、我が子が小規模校で良かったと思っています。
- ・ 1人に目をかけることができる。
- ・ 子供たち一人一人への目が行き届いていると感じるから。(平方北小保護者です)
- ・ 1人に掛けてもらう時間が多い。
- ・ 少ない人数ですが、ゆとりをもって、先生方々が生徒にご指導していただける、安心感が親側からするとあります。

(2) その他

- ・ 災害のとき逃げきれぬ可能性が高くなるから。

② メリット・デメリットの両方に関すること

(1) 主に 学級編制、学習指導・生徒指導 に関すること

- ・ 友達的人数が少なく、もしいじめられたりするとクラス替えもないので逃げ場がないことがデメリットと思う反面、先生との距離が近く一人一人しっかりと見ていただけているのでメリットの方が大きいかなと思っています。

- ・ 学年が低いうちは学校が楽しい、学習が楽しいと思えるよう小規模での手厚い教育が受けられる小規模がとても望ましいと思うが、友達同士のトラブルや現代のいじめ問題などにはクラス替えがないことは気に掛かります。しかし、先生方や保護者の連携によりそういったデメリットを軽減することは可能だと思うのでメリットの方が大きいと思います。
- ・ 学級数が少ないことでクラス替えができないというデメリットは人間関係に悩んでいる生徒にとって厳しい環境ではあると思いますが、先生が目が行き届くことで、生徒の生活面や学習面での状況を把握しやすく、何か問題が起きた際に、いち早く大人がサポートできる点は生徒にとっては大きなメリットではないかと思います。
- ・ 一人一人の学習状況に合わせた細やかな授業をして頂けると、授業の理解が進むと思うので我が家ではメリットが大きいです。ですが集団での学習が難しい点にはデメリットをやや感じるため、どちらかと言えばメリットの方が大きいと回答しました。
- ・ 先生方と子供たちとの距離が近く、保護者も相談などをしやすい。中学校へ進学した時に友達がいらない。
- ・ 学校内の教育においても、学校外の環境においても今のままの小規模校で学習するほうが安心、安全だと思う。教育においては少人数のほうが先生が目が行き届きやすく、細かな配慮もしてもらっていると感じる。上下の学年とも顔見知りになっているのが良い刺激になっている。実際子供にとってデメリットと感ずるのはクラス替えができないことくらい。万が一クラスの子と大きなトラブルが起き、解決が難しい場合逃げ場がないのではと思う。学校外の活動においては子供が学校の外に出た時、学校周辺の住民と顔見知りである等地域との関わりは防犯につながっていると思う。地域で育てている子供の顔を周辺住民が知っている、登校風景を見る機会がある、ということも多少なりとも愛着をもって見守ってもらうきっかけになると思う。人数をまとめて違う地域の学校に通うようになれば地域との連携は形だけになってしまうだろうと感ずる。デメリットしか感ずない。自分が小さい子を持つ親でない住民側だとしたら、離れた地域から通ってきている子供に興味を持たないだろうし、近所の子でも離れた地域の学校へ通うようになってしまった子供に興味を持たないのではないかと思う。

(2) その他

- ・ 小学校は今のままが良いと思っています。中学は合併してもいいかなと思います。
- ・ 小学校の段階ではむしろ大規模校のデメリットの方が大きいと感ずる。

■ 設問1において、「デメリットの方が大きい」「どちらかといえばデメリットの方が大きい」と回答をした理由

① デメリットに関すること

(1) 主に 学級編制、教育活動、学習指導・生徒指導 に関すること

- ・ クラス替えがない分、友達も増えないし、環境の変化に対応できないようになってしまいう気がするから。

- ・ クラス替えがないといつも同じお友達としか関わりがなく、競争心があまりないため新しいことに挑戦しようとしにくい。勉強面でものんびりで出来なくてもそんなに焦ったりしていない様に見える。
- ・ 6年間で一度もクラス替えをしない決まった人間関係の中で生活するしかない。人付き合いを選べない。

(2) 前述の (1) 及び PTA に関すること

- ・ 旗振りの回数、PTA 等、保護者の負担が大きい。クラス替えが出来ず、多種多様な考え方や、思考ができにくい。何か友達関係でトラブルがあった時の解決策としてクラス替えがあると思うが、それができないとなると、なかなかトラブルが解決できず、違う問題に発展してしまいそう。不登校等。運動会や学習発表会等、クラス対抗する機会がなくクラスの団結力が出来にくい。
- ・ 競争心が芽生えない、個人のレベル向上にならない、親の活動などの負担。
- ・ 子供同士のトラブルがおきたときに逃げ場が無い(クラス替えが出来ない)。大勢の人、初めての場所でどう一歩を踏み出せばいいのか困っている様子がみられる。(新しい友達の作り方が分からない。進学に不安。掃除が行き届いていない部分がみられる。役員が大変。校庭が雑草に侵食される速度が年々増している気がする。

② メリット・デメリットの両方に関すること

(1) 学習指導・生徒指導、コミュニケーション、集団活動・行事、施設

- ・ メリットとして同学年に限らず、1～6年生全体でお友達をつくれたり、先生方が名前や兄弟関係まで把握して下さるのが有り難い。反面、大抵の事の範囲が狭くなり行事等活動に影響が出てくる。設備等も市の中心部学校とは差が出てきてはいないのか?とも思う。学力や、体力も差があるのでは?と感じる。上記メリット欄に地域の協力が得られやすい…と記載されているが高齢者が多い中、特に夏や冬場の協力は懸念を抱く。

設問3 現在の学級数。学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)

設問4 上記の理由を教えてください。(自由記述)

■ 設問3において、「ある」と回答をした理由

(1) 主に 学級編制、学習指導・生徒指導、教育活動 に関すること

- ・ クラスが一つしかない分、仲良くなることはできるけど、何か問題が起こってしまうと、逃げられない環境にあるかなと思うから。
- ・ 人数が少ないため、一人一人よく見てくれる事は助かるが、合わない子がいた場合など、クラスのメンバーが六年間変わらない事に不安がある。
- ・ 出来るスポーツ,音楽,学級活動に限りがある。クラス替えが出来ない。
- ・ クラス替えがないことです。
- ・ 子供の選択肢が少ない。小中学校共に少人数だと人間関係の広がりがない。
- ・ 行事に盛り上がりがない。競争心、対抗心が芽生えない。
- ・ 友達が増えない。

(2) 主に PTA に関すること

- ・ PTA、旗当番など回る回数が多く、不満がある。

(3) 前述の (1)、(2) の両面及び学校管理・運営 に関すること

- ・ 世帯数が少なく、PTAの役員負担や学校予算が少ない事や、先生方の人数が少なく研修に一日2つ掛け持ちしたりしてるとも聞いています。生徒人数も年々減っているので入学する生徒が一桁になってしまうのではないかと心配です。
- ・ 運動会で競争する意識がもてない。クラス替えがない。役員や旗当番がとても負担が大きい。クラブ活動がいろいろできない。
- ・ 学校運営として、校内清掃や環境整備にかかる人手やお金が不足してると感じる。(PTA会費に頼らず、市からの補助が必要と感じる)

■ 設問3において、「ない」と回答をした理由

(1) 主に 通学区域 に関すること

- ・ 今のままでいいと思います。確実に一クラスが続いている学校が問題なら合併じゃなくて、通学区域を見直す方が良くと思います。

(2) その他

- ・ 特になし。
- ・ 下の子もいるので学校の存続が危ぶまれていることが不安。
- ・ 少なくとも子供達は楽しく元気に遊びと学びが出来ている。思いやりと優しさは人数少ないからこそ身近で学び行動力に繋がっている。
- ・ 楽しいクラスだから。

(4) 大石南中学校 保護者

保護者用アンケート設問

No.	設問文
設問 1	現在の学級数・学校規模についてお伺いします。(中略) 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)
設問 2	上記の理由を教えてください。(自由記述)
設問 3	現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)
設問 4	上記の理由を教えてください。(自由記述)
設問 5	学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。(複数回答可)
設問 6	学校の再編に期待することは何ですか。お考えに近いものを教えてください。(複数回答可)
設問 7	学校再編の検討組織についてお伺いします。(中略) 市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適当だと考えますか。(1つ選択)

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数(全体)を基数として、小数点以下を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。

設問1 現在の学級数・学校規模について

■ 小規模校のメリット・デメリット

小規模校のメリット・デメリットについては、「どちらかといえば、メリットの方が大きい」が55%でもっとも多く、ついで「どちらかといえば、デメリットの方が大きい」27%、「メリットの方が大きい」11%となっている。

(上段：実数、下段：%)

設問1 現在の学級数・学校規模についてお伺いします。(中略)小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)				
全体	メリットの方が大きい	どちらかといえば、メリットの方が大きい	どちらかといえば、デメリットの方が大きい	デメリットの方が大きい
109	12	60	29	8
100%	11%	55%	27%	7%

設問2 「設問1」の回答理由(自由記述) ※後述(自由記述意見参照)

設問3 困っていることや不安

現在の学級数・学校規模に対する困っていることや不安については、「ある」33%、「ない」67%となっている。

(上段：実数、下段：%)

設問3 現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)		
全体	ある	ない
109	36	73
100%	33%	67%

設問4 「設問3」の回答理由(自由記述) ※後述(自由記述意見参照)

設問5 学校再編について

■ 学校を再編する手段

学校を再編する手段については、「通学区域の見直し」が34%でもっとも多く、ついで「通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする（学校選択制）」19%、「他の中学校との統合を行う」16%となっている。

(左側：実数、右側：%)

設問5 学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。(複数回答可)		
通学区域の見直し	69	34%
他の中学校との統合を行う	33	16%
小学校と中学校で統合を行う	26	13%
通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする(学校選択制)	38	19%
適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない	23	11%
どんなに生徒数が減っても問題ない。(学校再編をする必要はない)	6	3%
その他※	6	3%
全体	201	100%

※ (その他)

- ・ 通学区域は残しつつ、学区外も選択できるようにする。小規模校への教科担任の配置が困難な場合、他校との兼務や外部のサポートを取り入れる。いかがでしょうか。
- ・ 中学生となれば自転車通学も可能なので学区の見直しをして、地域で人数の調整をして頂きたいです。
- ・ 大石南中は低い場所なので避難場所にはむかないが、大石南小は高く避難場所として最適であるから、小学校に中学校もついて小中を統合するとよいと考えます。
- ・ 大規模が良いか小規模が良いかは子供の性格にもよると思います。自由度が高ければ不登校なども少しは減るのではないのでしょうか。
- ・ 小学校から学区をひろげて増やす。
- ・ 近くの中学校との統合も検討したら良いとは思いますが、通学が遠くなる生徒が出てきます。登下校時に自転車を使う、朝早い、帰りが遅くなるなど大変だと思われるので、その辺りが不安点です。

設問6 学校の再編に期待すること

学校の再編に期待することについては、「クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる」が23%でもっとも多く、ついで「クラス替えなどができるようになる（人間関係に配慮した学級編制ができる）」と「人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる」が共に概ね14%、「学校間の教育効果の偏りがなくなる」と「学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる」が共に概ね10%となっている。

(左側：実数、右側：%)

設問6 学校の再編に期待することは何ですか。お考えに近いものを教えてください。 (複数回答可)		
クラス替えなどができるようになる（人間関係に配慮した学級編制ができる）	49	14%
学校間の教育効果の偏りがなくなる	36	10%
人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる	50	14%
教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行えるようになる	26	8%
クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる	80	23%
学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる	34	10%
様々なグループ編制により、個別指導と集団指導の両方が可能となる	18	5%
学年内での習熟度別指導や専科指導等の多様な指導体制がとれる	19	6%
多くの教員の多様な価値観に触れて学習することで、資質を向上させられる	23	7%
特にない	8	2%
その他※	2	1%
全体	345	100%

※（その他）

- ・ あまり多数の生徒がいると子どもによっては疲れてしまうので、マンモス校になってしまうのはよくない。バランスが大事です。
- ・ 先生の負担を軽減し、多様な生徒の学習支援に対応するゆとりがあること。

設問 7 学校再編の検討組織について

■ 検討組織の市民公募を行う場合の人選

市民公募を行う場合の人選については、「通学区域に在住の人」が33%でもっとも多く、ついで「未就学児の保護者」22%、「学校教育に関わる人（他校の教職員等）」21%となっている。

（上段：実数、下段：％）

設問 7 学校再編の検討組織についてお伺いします。（中略）市民公募を行う場合は、どのような人を募集することが適当だと考えますか。（1つ選択）					
全体	通学区域に 在住の人	未就学児の 保護者	学校教育に 関わる人（他 校の教職員 等）	公立学校で の教育に興 味・関心のある人	その他※
109	36	24	23	19	7
100%	33%	22%	21%	17%	6%

※（その他）

- ・ 上尾市立小中学校の卒業生、在校生、公立学校の今後に関心のある人。
- ・ 地元民だけではなく、他県出身者。
- ・ 市民公募は難しいと思います。
- ・ 教育者よりも、さらにその先の社会で、人をみる立場の経験を積んだ人。
- ・ 特に。
- ・ 色々な立場の方の話を聞くと、結論が出なくなってしまうと思います。今までも様々なかたちで意見をもらってきたと思うので、専門知識を持った方々で総括して頂いて構わないと思います。ある程度、強行に話をすすめていただいて、再編できるよう思います。色々大変な作業かと思いますが宜しくお願いいたします。
- ・ 通学区域の生徒保護者。

自由記述意見

設問1 小規模校には前述の参考資料のようにメリット・デメリットがそれぞれあります。メリットとデメリットのどちらが大きいと感じますか。(1つ選択)

設問2 上記の理由を教えてください。(自由記述)

■ 設問1において、「メリットの方が大きい」「どちらかといえばメリットの方が大きい」と回答をした理由

① メリットに関すること

(1) 主に 学習指導・生徒指導、教育活動 に関すること

- ・ 大規模、小規模ともにメリット、デメリットはありとおもいますが、今年から入学して今、感じているのは担任の先生や部活の顧問の先生がよく見てくれているということです。小学校の先生とはまた違って、少し大人の扱いをしてくれる親以外の大人が身近にいてくれるのは子供としてはとても心強いと思います。今後はどう感じるかわかりませんが今はメリットの方が大きいと思います。
- ・ 先生が目が行き届く。いじめ等が少ないのでは。
- ・ 小規模なら大人が目が届きやすく、施設の利用などにも余裕があり、子供も落ちついて通えているので、メリットの方が大きいと思います。
- ・ きめ細やかな教育ができ、個々の個性を伸ばすことができるかもしれないので。
- ・ 一人一人に対する個別指導がしやすいため。
- ・ 教師が目が行き届くから。
- ・ ゆったり見てもらえる。
- ・ 少人数クラスなので勉強に遅れを取っている生徒には先生が目も行き届くと思う。
- ・ 学校生活において、先生が目が行き届きやすい。
- ・ 先生達が良く見てくれる。一人一人の活躍の場が多くあり、良い経験になる。
- ・ 小学校からそのような学校生活を送っていたら、メリットが大きく感じる。一人一人の距離の近さを特にメリットに感じ、学習面等でも人数の少なさからメリットを感じることが多い。
- ・ 先生が生徒一人一人に親身になって寄り添ってくれるため。
- ・ 先生の負担が軽減し、生徒にきめ細かい対応ができるため。
- ・ 大規模校に通ったことがないのでわかりませんが私の子供は小規模校のメリットである、意見や感想を發表できる機会が多くなる、様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる、たくさんの自信や責任感を身につけたように思います。またコロナ禍においても様々な場面で、小規模校で良かったなど感じる事が多くありました。

- ・ 学級数が少なく1クラスの人数が25人程の穏やかな環境で、先生・生徒双方のゆとりが感じられて、先生方から丁寧な学習指導を頂けて有り難いです。25人→35人に増加すると、先生は10人多くの生徒に目を配り把握しなければならず、単純に負担が増加することと思います。大石南中は（大石南小も）、上尾でもフィンランドのような少人数教育のメリットが現れている希少な学校かもしれません。少ない生徒数だけでなく校長先生ならびにお世話になっている先生方の柔軟なご姿勢も大きいと思います。
- ・ 卒業したこどもが少なく良かったと言っている。少ないので多数の人間に気を使わなくて良い、先生方と話しやすい、友達ともじっくり話せる仲になれた。とにかくゆったり過ごせたと言っているため。

② メリット・デメリットの両方に関すること

(1) 主に 学習指導・生徒指導、教育活動 に関すること

- ・ 一人一人の学習状況に応じてきめ細かな指導ができる、1人の発表の場が多いとメリットは多いが、人数が少ないと選択できる部活動の種類が制限されてしまうのは、デメリットである。
- ・ 勉強するのに、良くみて貰えるからいいと思うが、子供が少ないと部活動の数が少なくやりたい部活がなかったり少ないと試合がくめなかったり練習が難しい時がある。
- ・ 体育祭や合唱、部活など、大人数いた方が良いという点以外、メリットと思います。
- ・ 子供の様子や内面まで、よく見ていただいていることに感服するばかりです。穏やかな学年で、先生や友人に恵まれたため幸運でした。その反面、荒れた学年の場合が心配です。

(2) その他

- ・ どちらかと言えばメリットがあると思いますが、南中は生徒が少なすぎる
- ・ 教育に関してはメリットの方が多いと思いますが、小規模校だと校外学習の際の団体料金が使えなかったり、バス代や卒業アルバム等の出費が多くなるデメリットがあると思います。

■ 設問1において、「デメリットの方が大きい」「どちらかといえばデメリットの方が大きい」と回答をした理由

① デメリットに関すること

(1) 主に 学級編制、教育活動 に関すること

- ・ 本当に気の合う友人に出会い辛い。
- ・ 小さな輪の中で競う事ができず、社会に入ってから苦労しそう。
- ・ きめ細かな指導が行き届いているとはあまり感じない。

(2) 主に クラブ活動や部活動 に関すること

- ・ 部活動が少なすぎて選べない。やりたいものがない。
- ・ 部活が寂しい。
- ・ 例のような活動の制限を実感している為。部活動に関していえば、毎年いずれかの部で「部員不足による存続の危機」を繰り返しており、実際に廃部となった部も出ている為。

- ・ 部活動の数が少ないのはデメリットだと思います。娘も入りたかった部活が人数が足りず廃部になってしまったので残念でした。

(3) 前述の (1) 及び (2) の両面 に関する事

- ・ クラス替えしても半分は同じ人とだと毎年クラス替えしても新鮮さを感じられません。多感な時期に先生の眼が届きすぎているのも、息苦しそうに感じます。部活動も選択肢が少なく、先生も掛け持ちで受け持っているのも、精一杯出来るのか心配です。
- ・ 部活動の制約は痛感しています。やりたい活動ができない状況です。小学生までは小規模校のメリットが大きいと感じていましたが、中学以降は切磋琢磨できる環境が必要だと思います。
- ・ 上記のデメリットに書いてある通り、部活動の種類も部員数も少ないため、部活内での試合をすることも出来ない。大会や他校との練習試合でも人数の差から交代もままならない。少人数では練習内容も限られて、実力の差も感じてしまう。小学校を卒業してやりたい部活が無いのはかわいそう。人数が少ないことで先生が目が行き届くと言うメリットを推しているが、どのように評価しているのか不明。
- ・ 部活動、体育祭、イベントの盛り上がりがない。
- ・ 部活動の制限がありすぎる。クラス替えもほぼ無い状況で友達が少ない。

(4) 主に PTA に関する事

- ・ PTA の負担が大きくなるから。

(5) その他

- ・ 何事も選択肢が狭まってしまう。
- ・ 学校までの距離が遠くなる。

② メリット・デメリットの両方に関する事

(1) 主に 学習指導・生徒指導、学級編制 に関する事

- ・ 目が行き届くのは良い事だが、友達関係が上手くいかない時など、他クラスに逃げる事が出来ない。張り合うとか切磋琢磨ができないから。

設問3 現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。(1つ選択)

設問4 上記の理由を教えてください。(自由記述)

■ 設問3において、「ある」と回答をした理由

(1) 主に 学級編制、学習指導・生徒指導、教育活動 に関すること

- ・ せめてもう1クラス増えると嬉しい。
- ・ 困ったり不安には感じていないが、3学級はあってほしい。
- ・ 気が合わない子や一緒だとはしゃいでしまって勉強が成り立たなくなるなど、同じクラスになることで支障をきたすことがあると思います。2クラスだとそれらを全て違うクラスにすることが厳しいので4クラスほどあればちょうど良さそうだと思います。
- ・ 本人の嫌がることをする子と関わる機会が増えてしまうから。
- ・ 友達関係。
- ・ いろいろな事に対応するために、気持ちを切り替えようとしても、環境に開きがないために可能性が限られて、子供心に先が見えてしまうため。言ってもむだ、何かしてもムダ、と思ってしまう。
- ・ 男女比が目立つ学年が多く、不安です。

(2) 主に クラブ活動や部活動 に関すること

- ・ 部活の選択肢が少なすぎる。
- ・ 学校対抗の部活で差が出る、活気がない。
- ・ 部活動があまり選べない。
- ・ 部活が選ぶほどない。
- ・ 部活動など、人数が少なく部活の種類が少ない。
- ・ 部活動の種類、1部活の人数が少ない。大規模校に部活で勝ちにくい。
- ・ このままいくと中学校も同じお友達のみで設問2の問題が生じる。部活動や委員会で選択の範囲が狭まることは子供にとって良くない。

(3) 前述の (1)、(2) の両面及びPTA に関すること

- ・ 苦手な人と同じクラスになる確率が上がったり、入りたい部活がなかったり、諦めることが多いのも、小規模校だと思います。
- ・ 入学した時の部活動の少なさにビックリしました。学力も分母が小さい分上位になれても心配しかありません。
- ・ 学級数が少ないと役員を2回やらざるを得ないことも考えられる。部活動の種類が少ない。
- ・ PTA 役員を受ける回数が増え、負担になること。
- ・ 役員の負担が多い。

(4) その他

- ・ 毎年出身小学校の人数の割合が大きく違い、入学後の生徒の感じ方が違う。大石南小→顔ぶれが同じ。小学校の時と変わらない。平方北小→新しい顔ぶれと人数の多さに圧倒されてしまう。馴染むまでに時間がかかる。入学して間もなく委員会や係り決め等があるが、立候補するにも、話し合いするにも平方北小の出身生徒は心理的に大きく不利だと感じる。

■ 設問3において、「ない」と回答をした理由

(1) 主に 学級編制 に関すること

- ・ 今はないが、トラブルがあると少ないクラスなので、人間関係が難しい。

(2) その他

- ・ 困っていることはないが寂しさはある。
- ・ 小規模校に在籍してみて、メリットの方が大きいと感じている。
- ・ ありません。
- ・ 今の状態で不満がないです。

(5) 尾山台小学校通学区域 未就学児保護者

未就学児保護者用アンケート設問

No.	設問文
1. 小中学校の教育環境について	
問 1-1	お子さんが学校で身に付けてほしいことについて、特に大事と思うものを、次の中から 3つまで選択してください。
問 1-2	あなたが、学校教育に求めるものについて、次の中から 3つまで選択してください。
問 1-3	お子さんが学校に入学する時、どのような学校を望みますか。次の中から 3つまで選択してください。
2. 適正な学校規模について	
問 2-1	小学校における1学年あたりのクラス数について、あなたが適切と考えるクラス数を次の中から 1つ選択してください。
問 2-2	「問 2-1」で回答した理由に近いものはどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。
3. これからの学校のあり方について	
問 3-1	学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。
問 3-2	今後、皆様と検討を進め、学校再編という結論に至った場合、通学したい学校を教えてください。次の中から 1つ選択してください。
問 3-3	問 3-3 学校再編について、ご意見等をご自由にお書きください。(自由記述)
4. 学校再編の検討組織について	
問 4-1	検討組織は、どのようなメンバーで構成すべきと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。
問 4-2	市民公募を行う場合、どのような人を募集することが適切と考えますか。次の中から 1つ選択してください。
問 4-3	学校再編を検討する場合に、どのような点に配慮すべきと考えますか。次の中から 3つまで選択してください。

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数(全体)を基数として、小数点以下を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、回答比率の合計が100%にならない場合がある。

1. 小中学校の教育環境について

問1-1 学校で身に付けてほしいこと

学校で身に付けてほしいことについては、「1 基礎的な知識・技能」「2 協働性・協調性」が21%でもっとも多く、ついで「4 社会性」「5 思いやり・共感力」がそれぞれ16%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問1-1 お子さんが学校で身に付けてほしいことについて、特に大事と思うものを、次の中から 3つまで選択してください。					
全体	1 基礎的な知識・技能	2 協働性・協調性	3 思考力・判断力	4 社会性	5 思いやり・共感力
110	23	23	12	18	18
100%	21%	21%	11%	16%	16%
6 表現力・説明力	7 主体性	8 責任感	9 体力	10 その他	
5	4	6	1	0	
5%	4%	5%	1%	0%	

問1-2 学校教育に求めるもの

学校教育に求めることについては、「1 確かな学力の定着と学力の向上」が23%でもっとも多く、ついで「5 いじめ対策・不登校対策の充実」13%、「4 道德教育の推進」12%、「13 英語教育の推進」10%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問1-2 あなたが、学校教育に求めるものについて、次の中から 3つまで選択してください。							
全体	1 確かな学力の定着と学力の向上	2 小中一貫教育の推進	3 I C T教育の推進	4 道德教育の推進	5 いじめ対策・不登校対策の充実	6 人権教育の推進	7 児童生徒の体力の向上
107	25	3	5	13	14	10	9
100%	23%	3%	5%	12%	13%	9%	8%
8 学校保健の充実	9 食育の推進	10 進路指導・キャリア教育の充実	11 特別支援教育の推進	12 学校における相談体制の充実	13 英語教育の推進	14 その他※	
2	2	5	1	4	11	3	
2%	2%	5%	1%	4%	10%	3%	

※(その他)・好奇心を刺激する体験・性教育 防犯のためにも・個々の能力を伸ばす、学びたいことが学べる。

問1-3 どのような学校を望むか

どのような学校を望むかについては、「9 安全な経路で通学できる」が23%でもっとも多く、ついで「4 時代に合った教育が実践されている」21%、「8 通学距離が短い」16%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問1-3 お子さんが学校に入学する時、どのような学校を望みますか。次の中から3つまで選択してください。						
全体	1 友達が多く入学する	2 特色のある授業が行われている	3 教員育成が図られている	4 時代に合った教育が実践されている	5 クラス替えができる学校	6 児童生徒数の少ない小規模な学校
111	7	5	9	23	4	1
100%	6%	5%	8%	21%	4%	1%
7 地域の人とのつながりがある	8 通学距離が短い	9 安全な経路で通学できる	10 学校が新しく設備が整っている	11 クラブ・部活動が活発	12 その他※	
4	18	26	8	5	1	
4%	16%	23%	7%	5%	1%	

※ (その他)

- ・ P T A活動のない学校。

2. 適正な学校規模について

問2-1 適切と考えるクラス数

適切と考えるクラス数については、「3クラス」が58%でもっとも多く、ついで「2クラス」26%、「4クラス」8%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問2-1 小学校における1学年あたりのクラス数について、あなたが適切と考えるクラス数を次の中から1つ選択してください。					
全体	1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス以上
38	2	10	22	3	1
100%	5%	26%	58%	8%	3%

問2-2 適切なクラス数と考える理由

適切なクラス数と考える理由については、「8クラス替えがあり人間関係が固定化しない」が15%でもっとも多く、ついで、「4教員の目が行き届きやすい」13%、「7広い交友関係の構築を期待できる」11%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問2-2 「問2-1」で回答した理由に近いものはどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。							
全体	1 全学年の児童と交流させやすい	2 深い交友関係の構築を期待できる	3 個々の活躍の場が増える	4 教員の目が行き届きやすい	5 体育館など余裕をもって使うことができる	6 学校・地域・保護者が一体となった活動がしやすい	7 広い交友関係の構築を期待できる
150	10	13	7	20	6	4	16
100%	7%	9%	5%	13%	4%	3%	11%
8 クラス替えがあり人間関係が固定化しない	9 多数の先生と関わりがしやすい	10 クラブ活動や委員会等の選択肢が多い	11 運動会等の醍醐味を体験させられる	12 多様な意見に触れさせることができる	13 その他※		
23	14	9	15	12	1		
15%	9%	6%	10%	8%	1%		

※ (その他)

- ・ クラスの数が少ない、多いということが問題ではなく、そのクラスに在籍する子どもた

ちと先生が目が行き届くのか、健やかな精神が育まれるのかが重要だと感じています。子ども時代に色々な友達に接することで、大人になった時に、合う人、合わない人が出てきたらどうやって関係を作るかなど勉強になると感じるので、多いことが一概にダメ！なのではなく、多すぎて、または1クラスが少なすぎて、という極端な状況が問題なのであれば、その問題を抱えている学校の要望を聞いて教員を増やすことや、または少なすぎる場合は、別学年との交流を行うなど、対応してはどうでしょうか。

3. これからの学校のあり方について

問3-1 学校を再編する手段

学校を再編する手段については、「4 希望する学校に就学できるようにする（学校選択制）」が30%でもっとも多く、ついで「1 通学区域の見直し」23%、「2 他の小学校との統合を行う」19%となっている。

(左側：実数、右側：%)

問3-1 学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。		
1 通学区域の見直し	16	23%
2 他の小学校との統合を行う	13	19%
3 小学校と中学校で統合を行う	6	9%
4 希望する学校に就学できるようにする（学校選択制）	21	30%
5 適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない	9	13%
6 どんなに生徒数が減っても問題ない。（学校再編をする必要はない）	4	6%
7 その他	0	0%
全体	69	100%

問 3-2 通学したい学校

通学したい学校については、「2 原市南小学校」が 45%でもっとも多く、ついで「4 今はわからない」32%、「1 瓦葺小学校」「3 原市小学校」がそれぞれ 11%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問 3-2 今後、皆様と検討を進め、学校再編という結論に至った場合、通学したい学校を教えてください。次の中から 1つ選択してください。					
全体	1 瓦葺小学校	2 原市南小学校	3 原市小学校	4 今はわからない	5 その他※
38	4	17	4	12	1
100%	11%	45%	11%	32%	3%

※ (その他)

- ・ 特別支援校を希望のため、どれも該当しません。

問 3-3 学校再編についての意見 ※後述 (自由記述意見参照)

4. 学校再編の検討組織について

問 4-1 検討組織のメンバー

検討組織のメンバーについては、「3 学校関係者 (校長など)」が 27%でもっとも多く、ついで「1 保護者 (PTA 役員など)」24%、「4 市民公募」17%、「2 地域住民 (自治会役員など)」 「6 有識者 (大学教授などの専門家)」がそれぞれ 14%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問 4-1 検討組織は、どのようなメンバーで構成すべきと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。							
全体	1 保護者 (PTA 役員など)	2 地域住民 (自治会役員など)	3 学校関係者 (校長など)	4 市民公募	5 市議会議員	6 有識者 (大学教授などの専門家)	7 その他
108	26	15	29	18	5	15	0
100%	24%	14%	27%	17%	5%	14%	0%

問4-2 検討組織の市民公募を行う場合の人選

検討組織の市民公募を行う場合の人選については、「2 未就学児の保護者」が41%でもっとも多く、ついで「1 通学区域に在住の人」24%、「3 学校教育に関わる人（他校の教職員等）」と「4 公立学校での教育に興味・関心がある人」がそれぞれ16%となっている。

（上段：実数、下段：％）

問4-2 市民公募を行う場合、どのような人を募集することが適切と考えますか。次の中から 1つ選択してください。					
全体	1 通学区域 に在住の人	2 未就学児 の保護者	3 学校教育 に関わる人 (他校の教職 員等)	4 公立学校 での教育に 興味・関心 がある人	5 その他※
37	9	15	6	6	1
100%	24%	41%	16%	16%	3%

※（その他）

- ・ 上記の者をそれぞれ割合を決定し全員参加をした方が良いと存じます。可能な限り、検討結果の効果を感じて貰いたい者に多く参加して頂く方が良いと存じます。

問 4－3 学校再編を検討する場合に配慮すること

学校再編を検討する場合に配慮することについては、「1 子供たちの通学（時間・距離・方法）と安全確保」が 31%でもっとも多く、ついで「2 子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減」19%、「3 魅力的な学校教育の実施や教育環境の整備」14%となっている。

（左側：実数、右側：%）

問 4-3 学校再編を検討する場合に、どのような点に配慮すべきと考えますか。次の中から 3 つまで選択してください。		
1 子供たちの通学（時間・距離・方法）と安全確保	35	31%
2 子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減	23	19%
3 魅力的な学校教育の実施や教育環境の整備	16	14%
4 再編する学校の子供たち同士の事前交流	6	5%
5 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策の提示	9	10%
6 避難所機能の存続・充実	8	8%
7 学校を拠点とし、地域住民が必要なサービス機能の整備（複合化）	4	3%
8 保護者・地域住民・学校関係者等との十分な協議と丁寧な説明	13	10%
9 その他	0	0%
全体	114	100%

自由記述意見

問3-3 学校再編について、ご意見等をご自由にお書きください。(自由記述)

(1) 学級編制、教育活動、学校再編

- ・ 1学年1学級で6年間生活するというのは 難しい事が多いように思います。少人数過ぎると どうしても偏りが生じやすいですし、気の合うお友達を作って切磋琢磨してほしいと思うので なるべく色々なお友達と知り合うチャンスに恵まれてほしいです。難しいこととは思いますが 子供たちの未来を考えた再編を望みます。よろしく願いいたします。

(2) 通学、小中一貫校、教員配置、学校管理・運営

- ・ 瓦葺中学校の近くに住んでいるが、今後南小学校まで通学するとかなり遠く、道が危険で大変困る。危ない道が多く、距離も長くなり心配で仕方がない。希望としては、尾山台小か、瓦葺中を小中一貫校にし、中学では担任が教えられない教科については、オンラインなどのパソコンを使い、他校に助けてもらうことを希望する。
校務分掌もどこかの学校の分校みたいな形にして、教員の仕事も適度な量にする。駅前の教育の強化も大切であるが、本当に底上げしないといけないのは駅から遠い子どもたちではないのかと思う。私も教育関係で駅から遠い地域の子どもたちをみているが、やることは多いが達成感はある。少子化であり、どの子どもたちも平等に教育が受けられることができ、安全で、より良い教育を受けられるべきだと思う。長々と申し訳ありませんでしたが、本当に不便な暮らしをしています。引っ越してたまたま郵便物が届かなかったりしますが、真面目に誠実に生活している人たちが辛い思いをしない世の中になればと思います。

(3) 通学区域、その他

- ・ 基本的に通学区域の見直しにより学校を選別して良いと思うが、その後の廃墟化した学校は、公共施設としての再利用ではなく、商業施設やレジャー施設を誘致し、出来るだけ地方団体の財政や地域住民の利便性を向上させた方が合理的かと存じます。

(4) 教員配置、少子化、通学

- ・ 先生方働き手も子供も少なくなっている以上、ある程度の学校閉鎖は仕方ない。安全な通学ができるかで地域により対応策が変わると思う。なるべく早く結論を出してほしい。

(5) 施設、学童、クラブ活動や部活動

- ・ 基本計画の学校再編成はおおむね同意致します。施設の老朽化に関して、空調、耐震問題はクリアしてほしいと考えます。学童につきましても、再編によって待機児童が出ないよう調整を望みます。※民間と連携し、クラブ活動も外部顧問を活用するなどして児童、先生ともに快適な学校が作られていける体制を望みます。また、学童の充実もされると尚よく、共働き、核家族が増えているので安全安心に子供を預けられる仕組みと環境を望みます。

(6) 学校再編

- ・ 早急に検討して欲しい。
- ・ 尾山台小学校はクラス数が少ない状態がずっと続いている。スピード感のある対応をお願いしたいです。
- ・ 再編計画を実施する場合、入学前に実施計画を公表すべきである。すなわち最低でも6年前には計画を公表し、在学中に再編があるかをきちんと入学予定者に明示すべきである。尾山台団地は築50年となり、ぼちぼち建て替えになると思いますが、これにともなう新住民の流入は頭のかたすみにもあるのか質問したいです。建て替えになれば、住民年齢も当然若返ると思われます。URにも計画を聞いたうえで再編案を練るべきです。
- ・ 尾山台小学校に通学している児童数が思っているよりも少ないことに驚きました。うちの長女は保育園の入園手続きをするにあたり、待機児童に2年間（～現在に至る）もなっているため、児童数が多いとばかり思っておりました。これから尾山台小学校と瓦葺小学校の統合になるのかと考えてしまうのは普通の考え方なのではと思われます。
- ・ 尾山台小と瓦葺小を統合し、尾山台小を残すこと。瓦葺小を図書館、児童館に活用してはどうですか。

(7) 通学・通学区域

- ・ 通学距離が遠い、危険なのは嫌。

(8) 学級編制、通学区域

- ・ 1学年に1クラスしかないと、人間関係がうまくいかなかった場合、子どもが6年間苦しむことになる。最低でも2, 3クラスあって、クラス替えができるような学校規模であってほしい。尾山台小と原市南小は距離的に近いため、原市南小から自宅がものすごく近いのに（我が家は徒歩2分）、尾山台小（徒歩10分）が学区域という場所がある。学校規模の問題だけでなく、通学上の安全という面からも学校選択制を、この地域でも導入して欲しい。仮に今後学校再編で統合が決まった場合、在学中に転校の必要が生じる学年の子ども達については、精神的な負担等を考慮し、統合前の入学段階で、学校を選択できるようにして欲しい。新しい環境に適應するのが苦手な子もいます。

(9) 通学、PTA、集団活動・行事

- ・ランドセルが重い、教科書が重い、それなのに教科書は学校に置いて行ってはいけない等教師の気持ちだけでいろいろ決まってしまうので、小学校は近ければ近いほうがいい。再編したところで小学校の質が上がるわけでもないし、先生の質がよくなるわけでもない。学校への距離が長くなった分だけ、親が危険なところへ立っていなければいけない等必要のないこともやらされるのは嫌です。学校が遠くなる分だけなら、その分ちゃんとしている私立とか遠くになってもいいところが多そうな学校へ行ったほうがいいのではないかと思っています。あと、小さい学校のほうが運動会も見やすいですね。

(10) 学校再編、通学・通学区域

- ・学校再編は賛成なので、児童数が平等になるように考えてほしい。通学区域は大まかに決まっていて良いと思うが、境界ぎりぎりの場合は選択できるようにしてほしい。例えばお隣の友だちと仲が良いのに学校は別のようなことがあると学校に行き楽しみが減ってしまうと思う。
- ・尾山台小学校の児童数が少ないからと言って廃校にするのではなく、南小・原小区域に住んでいても通学希望者を募るのはどうでしょうか。3クラスが多すぎると感じている家庭は尾山台を希望する場合があるのではないかと思います。子どもたちや先生の負担がないようになるべく良い形で学校再編を行うならばやっていただきたいと思います。
- ・尾山台小学校を廃校にして他の3校に振り分けし、通学路の歩道や安全性を確保して欲しいです。
- ・遠い距離への通学は子供、保護者共に負担が増える為、送り迎えが大変な為（下の子供が保育園通園）現存のまま統合しないでほしい。

(11) 通学・通学区、学級編制、学校再編

- ・今の時点だと尾山台小学校の学区ですが、危ない交差点をさけるため通学路がだいぶ遠回りに設定されていたり、クラスが1クラスしかなく全校生徒が少ない事が少し引っかけ、希望としては原市南に通学したいと考えています。統合ができないのであれば、せめて選択制にして各家庭の判断で学校を決められるようにしていただきたいです。

(12) その他

- ・とくにないです。

(6) 平方北小学校通学区域 未就学児保護者

未就学児保護者用アンケート設問

No.	設問文
1. 小中学校の教育環境について	
問 1-1	お子さんが学校で身に付けてほしいことについて、特に大事と思うものを、次の中から 3つまで選択してください。
問 1-2	あなたが、学校教育に求めるものについて、次の中から 3つまで選択してください。
問 1-3	お子さんが学校に入学する時、どのような学校を望みますか。次の中から 3つまで選択してください。
2. 適正な学校規模について	
問 2-1	小学校における1学年あたりのクラス数について、あなたが適切と考えるクラス数を次の中から 1つ選択してください。
問 2-2	「問 2-1」で回答した理由に近いものはどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。
3. これからの学校のあり方について	
問 3-1	学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。
問 3-2	今後、皆様と検討を進め、学校再編という結論に至った場合、通学したい学校を教えてください。次の中から 1つ選択してください。
問 3-3	問 3-3 学校再編について、ご意見等をご自由にお書きください。(自由記述)
4. 学校再編の検討組織について	
問 4-1	検討組織は、どのようなメンバーで構成すべきと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。
問 4-2	市民公募を行う場合、どのような人を募集することが適切と考えますか。次の中から 1つ選択してください。
問 4-3	学校再編を検討する場合に、どのような点に配慮すべきと考えますか。次の中から 3つまで選択してください。

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数(全体)を基数として、小数点以下を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、回答比率の合計が100%にならない場合がある。

1. 小中学校の教育環境について

問1-1 学校で身に付けてほしいこと

学校で身に付けてほしいことについては、「1 基礎的な知識・技能」が20%でもっとも多く、ついで「2 協働性・協調性」「5 思いやり・共感力」がそれぞれ19%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問1-1 お子さんが学校で身に付けてほしいことについて、特に大事と思うものを、次の中から 3つまで選択してください。					
全体	1 基礎的な知識・技能	2 協働性・協調性	3 思考力・判断力	4 社会性	5 思いやり・共感力
80	16	15	13	12	15
100%	20%	19%	16%	15%	19%
6 表現力・説明力	7 主体性	8 責任感	9 体力	10 その他	
6	2	1	0	0	
8%	3%	1%	0%	0%	

問1-2 学校教育に求めるもの

学校教育に求めることについては、「1 確かな学力の定着と学力の向上」と「5 いじめ対策・不登校対策の充実」が22%でもっとも多く、ついで「7 児童生徒の体力の向上」19%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問1-2 あなたが、学校教育に求めるものについて、次の中から 3つまで選択してください。							
全体	1 確かな学力の定着と学力の向上	2 小中一貫教育の推進	3 ICT教育の推進	4 道徳教育の推進	5 いじめ対策・不登校対策の充実	6 人権教育の推進	7 児童生徒の体力の向上
69	15	0	5	8	15	3	13
100%	22%	0%	7%	12%	22%	4%	19%
8 学校保健の充実	9 食育の推進	10 進路指導・キャリア教育の充実	11 特別支援教育の推進	12 学校における相談体制の充実	13 英語教育の推進	14 その他	
2	1	5	0	2	0	0	
3%	1%	7%	0%	3%	0%	0%	

問 1 - 3 どのような学校を望むか

どのような学校を望むかについては、「4 時代に合った教育が実践されている」が 27% でもっとも多く、ついで「9 安全な経路で通学できる」20%、「8 通学距離が短い」13% となっている。

(上段：実数、下段：%)

問 1-3 お子さんが学校に入学する時、どのような学校を望みますか。次の中から 3 つまで選択してください。						
全体	1 友達が多く入学する	2 特色のある授業が行われている	3 教員育成が図られている	4 時代に合った教育が実践されている	5 クラス替えができる学校	6 児童生徒数の少ない小規模な学校
75	6	2	6	20	4	0
100%	8%	3%	8%	27%	5%	0%
7 地域の人とのつながりがある	8 通学距離が短い	9 安全な経路で通学できる	10 学校が新しく設備が整っている	11 クラブ・部活動が活発	12 その他	
5	10	15	7	0	0	
7%	13%	20%	9%	0%	0%	

2. 適正な学校規模について

問2-1 適切と考えるクラス数

適切と考えるクラス数については、「3クラス」が61%でもっとも多く、ついで「2クラス」32%、「4クラス」7%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問2-1 小学校における1学年あたりのクラス数について、あなたが適切と考えるクラス数を次の中から1つ選択してください。					
全体	1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス以上
28	0	9	17	2	0
100%	0%	32%	61%	7%	0%

問2-2 適切なクラス数と考える理由

適切なクラス数と考える理由については、「8 クラス替えがあり人間関係が固定化しない」が20%でもっとも多く、ついで「4 教員の目が行き届きやすい」17%、「2 深い交友関係の構築を期待できる」13%、「7 広い交友関係の構築を期待できる」11%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問2-2 「問2-1」で回答した理由に近いものはどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。							
全体	1 全学年の児童と交流させやすい	2 深い交友関係の構築を期待できる	3 個々の活躍の場が増える	4 教員の目が行き届きやすい	5 体育館など余裕をもって使うことができる	6 学校・地域・保護者が一体となった活動がしやすい	7 広い交友関係の構築を期待できる
87	6	11	5	15	3	1	10
100%	7%	13%	6%	17%	3%	1%	11%
8 クラス替えがあり人間関係が固定化しない	9 多数の先生と関わりがしやすい	10 クラブ活動や委員会等の選択肢が多い	11 運動会等の醍醐味を体験させられる	12 多様な意見に触れさせることができる	13 その他		
17	6	3	5	5	0		
20%	7%	3%	6%	6%	0%		

3. これからの学校のあり方について

問3-1 学校を再編する手段

学校を再編する手段については、「1 通学区域の見直し」と「4 希望する学校に就学できるようにする（学校選択制）」が27%でもっとも多く、ついで「5 適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない」21%、「2 他の小学校との統合を行う」17%となっている。

(左側：実数、右側：%)

問3-1 学校を再編する手段として望ましいと考えるものはどれですか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。		
1 通学区域の見直し	13	27%
2 他の小学校との統合を行う	8	17%
3 小学校と中学校で統合を行う	4	8%
4 希望する学校に就学できるようにする（学校選択制）	13	27%
5 適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない	10	21%
6 どのように生徒数が減っても問題ない。（学校再編をする必要はない）	0	0%
7 その他	0	0%
全体	48	100%

問3-2 通学したい学校

通学したい学校については、「5 今はわからない」が39%でもっとも多く、ついで「3 平方東小学校」32%、「4 今泉小学校」14%、「1 大石南小学校」11%、「2 平方小学校」4%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問3-2 今後、皆様と検討を進め、学校再編という結論に至った場合、通学したい学校を教えてください。次の中から1つ選択してください。						
全体	1 大石南小学校	2 平方小学校	3 平方東小学校	4 今泉小学校	5 今はわからない	6 その他
28	3	1	9	4	11	0
100%	11%	4%	32%	14%	39%	0%

問3-3 学校再編についての意見 ※後述（自由記述意見参照）

4. 学校再編の検討組織について

問 4-1 検討組織のメンバー

検討組織のメンバーについては、「3 学校関係者（校長など）」が 29%でもっとも多く、ついで「1 保護者（PTA 役員など）」25%、「2 地域住民（自治会役員など）」17%となっている。

（上段：実数、下段：％）

問 4-1 検討組織は、どのようなメンバーで構成すべきと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてを選択してください。							
全体	1 保護者 (PTA 役員など)	2 地域住 民(自治 会役員な ど)	3 学校関 係者(校 長など)	4 市民公 募	5 市議会 議員	6 有識者 (大学教 授などの 専門家)	7 その他
77	19	13	22	6	6	11	0
100%	25%	17%	29%	8%	8%	14%	0%

問 4-2 検討組織の市民公募を行う場合の人選

検討組織の市民公募を行う場合の人選については、「1 通学区域に在住の人」が 43%でもっとも多く、ついで「2 未就学児の保護者」25%、「3 学校教育に関わる人（他校の教職員等）」と「4 公立学校での教育に興味・関心がある人」がそれぞれ 14%となっている。

（上段：実数、下段：％）

問 4-2 市民公募を行う場合、どのような人を募集することが適切と考えますか。次の中から 1つ選択してください。					
全体	1 通学区域に 在住の人	2 未就学児の 保護者	3 学校教育に 関わる人(他 校の教職員 等)	4 公立学校で の教育に興 味・関心があ る人	5 その他※
27	12	7	4	4	0
100%	43%	25%	14%	14%	0%

問 4－3 学校再編を検討する場合に配慮すること

学校再編を検討する場合に配慮することについては、「1 子供たちの通学（時間・距離・方法）と安全確保」が 34%でもっとも多く、ついで「2 子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減」28%、「8 保護者・地域住民・学校関係者等との十分な協議と丁寧な説明」11%、「4 再編する学校の子供たち同士の事前交流」と「6 避難所機能の存続・充実」がそれぞれ 9%となっている。

（左側：実数、右側：%）

問 4-3 学校再編を検討する場合に、どのような点に配慮すべきと考えますか。次の中から 3 つまで選択してください。		
1 子供たちの通学（時間・距離・方法）と安全確保	22	34%
2 子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減	18	28%
3 魅力的な学校教育の実施や教育環境の整備	4	6%
4 再編する学校の子供たち同士の事前交流	6	9%
5 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策の提示	1	2%
6 避難所機能の存続・充実	6	9%
7 学校を拠点とし、地域住民が必要なサービス機能の整備（複合化）	1	2%
8 保護者・地域住民・学校関係者等との十分な協議と丁寧な説明	7	11%
9 その他	0	0%
全体	65	100%

自由記述意見

問3-3 学校再編について、ご意見等をご自由にお書きください。(自由記述)

(1) 通学・通学区域

- ・好きな学校にいかせたい。
- ・通学路でとても困り結局転校したので自由選択制が良いです。
- ・平方北小学校の生徒が中学に進学する場合、大石南中と太平中の二手に分かれてしまう。それだといずれの中学に進んだとしても、ただでさえ少人数となっている北小からの生徒数が分散となれば、中学における小学校の同窓生が圧倒的に少ない状況になる。ついては、北小の全生徒が分散されずに済む学区割となるよう、ご検討していただきたいです。

(2) 学級編制、通学区域

- ・再編という形ではなく、入学の時点から、学校を選択することが出来るようにして欲しい。途中で小学校が変わる、環境が変わるということは避けたい。子供を孤立させないためにも。
- ・再編するのは良いが通学させる距離が遠くなる子もいると思うのでバス通学など必要かな?と思う。

(3) 社会性、人間関係

- ・少人数もメリットはあると思いますが、6年間ある小学校の生活の中で、様々なお友だち、先生と、より多く関わりを持ち、いろんなことを感じてほしいと思っています。